

大学番号：031

注3

[平成22年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

事前伺い

電気通信大学 情報理工学部

注2

## 【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 電気通信大学

平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務課

職名・氏名 係長 小林律明

電話番号 042-443-5050

（夜間） 042-443-5050

F A X 042-443-5010

e-mail kchosa-k@office.uec.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

## 目 次

	ページ
1 調査対象大学等の概要等 . . . . .	1
2 授業科目の概要 . . . . .	17
3 施設・設備の整備状況, 経費 . . . . .	76
4 既設大学等の状況 . . . . .	77
5 教員組織の状況 . . . . .	78
6 留意事項に対する履行状況等 . . . . .	88
7 その他全般的事項 . . . . .	89

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 電気通信大学

## (2) 大学名

電気通信大学

## (3) 大学の位置

〒182-8585

東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
情報理工学部 総合情報学科 学士(工学)	4年	150人	3年次 6人	612人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	150 ( ) [ ]	人	150 ( ) [ ]	人	150 ( 6 ) [ ]	人	150 ( 6 ) [ ]	人	1.03倍  留学生数には下記編入生を含む。  平成24年度 ・志願者8人 ・受験者7人 ・合格者5人 ・入学者3人  平成25年度 ・志願者7人 ・受験者7人 ・合格者4人 ・入学者4人	
志願者数	669 ( ) [ 9 ]	( ) [ ]	769 ( ) [ 20 ]	( ) [ ]	839 ( 25 ) [ 23 ]	( ) [ ]	910 ( 43 ) [ 24 ]	( ) [ ]		
受験者数	502 ( ) [ 7 ]	( ) [ ]	450 ( ) [ 17 ]	( ) [ ]	678 ( 23 ) [ 18 ]	( ) [ ]	709 ( 41 ) [ 20 ]	( ) [ ]		
合格者数	175 ( ) [ 4 ]	( ) [ ]	191 ( ) [ 5 ]	( ) [ ]	171 ( 10 ) [ 7 ]	( ) [ ]	173 ( 10 ) [ 6 ]	( ) [ ]		
B 入学者数	157 ( ) [ 4 ]	( ) [ ]	154 ( ) [ 5 ]	( ) [ ]	155 ( 7 ) [ 5 ]	( ) [ ]	158 ( 7 ) [ 6 ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.04		1.02		1.03		1.05			

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[ 4 ] 157	[ - ] -	[ 5 ] 154	[ - ] -	[ 2 ] 155	[ - ] -	[ 2 ] 158	[ - ] -		
2年次	/		[ 4 ] 157	[ - ] -	[ 5 ] 154	[ - ] -	[ 2 ] 153	[ - ] -		
3年次			/		/		[ 7 ] 163	[ - ] -	[ 9 ] 162	[ - ] -
4年次							/		/	
計			[ 4 ] 157	[ 9 ] 311	[ 14 ] 472	[ 20 ] 634				

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(情報理工学部 総合情報学科)

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	157 人	3 人	平成22年度	0 人	0 人	・進路変更 (1人) ・進路変更 (1人) ・就職 (1人)	1.9 %
			平成23年度	1 人	0 人		
			平成24年度	2 人	0 人		
			平成25年度	0 人	0 人		
平成23年度 入学者	154 人	0 人	平成23年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成24年度	0 人	0 人		
			平成25年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	162 人	2 人	平成24年度	2 人	0 人	・他大学入学 (2人)	1.2 %
			平成25年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	165 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	638 人	5 人					0.8 %

(注)・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
                  ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
情報理工学部 情報・通信工学科  学士(工学)	4年	210人	3年次 8人	856人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 210 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 210 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 210 ( 8 ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 210 ( 8 ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	1.03倍	留学生数には下記編入生を含む。  平成24年度 ・ 志願者17人 ・ 受験者17人 ・ 合格者8人 ・ 入学者4人  平成25年度 ・ 志願者13人 ・ 受験者12人 ・ 合格者7人 ・ 入学者4人
志願者数	1587 ( - ) [ 15 ]	( - ) ( - ) [ - ]	1252 ( - ) [ 22 ]	( - ) ( - ) [ - ]	1247 ( 56 ) [ 31 ]	( - ) ( - ) [ - ]	1227 ( 44 ) [ 36 ]	( - ) ( - ) [ - ]		
受験者数	1216 ( - ) [ 12 ]	( - ) ( - ) [ - ]	639 ( - ) [ 16 ]	( - ) ( - ) [ - ]	972 ( 55 ) [ 28 ]	( - ) ( - ) [ - ]	942 ( 41 ) [ 29 ]	( - ) ( - ) [ - ]		
合格者数	232 ( - ) [ 5 ]	( - ) ( - ) [ - ]	237 ( - ) [ 6 ]	( - ) ( - ) [ - ]	237 ( 13 ) [ 13 ]	( - ) ( - ) [ - ]	238 ( 15 ) [ 11 ]	( - ) ( - ) [ - ]		
B 入学者数	217 ( - ) [ 7 ]	( - ) ( - ) [ - ]	211 ( - ) [ 5 ]	( - ) ( - ) [ - ]	217 ( 7 ) [ 10 ]	( - ) ( - ) [ - ]	223 ( 10 ) [ 8 ]	( - ) ( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	1.03		1.00		1.03		1.06			

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[ 7 ] 217	[ - ] -	[ 5 ] 211	[ - ] -	[ 6 ] 217	[ - ] -	[ 4 ] 223	[ - ] -		
2年次	/		[ 7 ] 213	[ - ] -	[ 5 ] 210	[ - ] -	[ 6 ] 216	[ - ] -		
3年次			/		/		[ 11 ] 220	[ - ] -	[ 9 ] 215	[ - ] -
4年次							/		/	
計			[ 7 ] 217	[ 12 ] 424	[ 22 ] 647	[ 30 ] 870				

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。



(情報理工学部 情報・通信工学科)

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	217 人	8 人	平成22年度	4 人	0 人	・他の教育機関への入学、転学 (2人) ・除籍 (2人)	3.7 %
			平成23年度	0 人	0 人		
			平成24年度	4 人	0 人	・学習意欲喪失 (3人) ・進路変更 (1人)	
			平成25年度	0 人	0 人		
平成23年度 入学者	211 人	5 人	平成23年度	1 人	0 人	・他の教育機関への入学、転学 (1人)	2.4 %
			平成24年度	3 人	0 人	・他大学入学 (1人) ・就職 (1人) ・健康上の理由 (1人)	
			平成25年度	1 人	0 人	・他大学入学 (1人)	
平成24年度 入学者	224 人	1 人	平成24年度	1 人	0 人	・他大学入学 (1人)	0.4 %
			平成25年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	233 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	885 人	14 人					1.6 %

(注)・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
                  ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	
情報理工学部 知能機械工学科  学士(工学)	4年	140人	3年次 6人	572人

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	140 ( ) [ ]	人	140 ( ) [ ]	人	140 ( 6 ) [ ]	人	140 ( 6 ) [ ]	人	1.05倍  留学生数には下記編入生を含む。  平成24年度 ・志願者6人 ・受験者6人 ・合格者3人 ・入学者0人  平成25年度 ・志願者11人 ・受験者8人 ・合格者2人 ・入学者1人	
志願者数	807 ( ) [ 13 ]	( ) [ ]	888 ( ) [ 21 ]	( ) [ ]	866 ( 23 ) [ 26 ]	( ) [ ]	897 ( 35 ) [ 30 ]	( ) [ ]		
受験者数	616 ( ) [ 11 ]	( ) [ ]	434 ( ) [ 19 ]	( ) [ ]	676 ( 23 ) [ 24 ]	( ) [ ]	698 ( 31 ) [ 24 ]	( ) [ ]		
合格者数	163 ( ) [ 2 ]	( ) [ ]	160 ( ) [ 3 ]	( ) [ ]	159 ( 9 ) [ 8 ]	( ) [ ]	164 ( 8 ) [ 6 ]	( ) [ ]		
B 入学者数	151 ( ) [ 5 ]	( ) [ ]	142 ( ) [ 4 ]	( ) [ ]	147 ( 5 ) [ 5 ]	( ) [ ]	150 ( 7 ) [ 5 ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.07		1.01		1.05		1.07			

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 5 ] 151	[ - ] -	[ 4 ] 142	[ - ] -	[ 5 ] 147	[ - ] -	[ 4 ] 150	[ - ] -	
2年次	/		[ 5 ] 150	[ - ] -	[ 5 ] 141	[ - ] -	[ 5 ] 144	[ - ] -	
3年次	/		/		[ 5 ] 155	[ - ] -	[ 6 ] 147	[ - ] -	
4年次	/		/		/		[ 4 ] 154	[ - ] -	
計	[ 5 ] 151		[ 9 ] 292		[ 5 ] 443		[ 19 ] 595		

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(情報理工学部 知能機械工学科)

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	151 人	2 人	平成22年度	1 人	0 人	・除籍 (1人)	1.3 %
			平成23年度	0 人	0 人		
			平成24年度	1 人	0 人	・学習意欲喪失 (1人)	
			平成25年度	0 人	0 人		
平成23年度 入学者	142 人	2 人	平成23年度	1 人	0 人	・他の教育機関への入学、転学 (1人)	1.4 %
			平成24年度	1 人	0 人	・他大学入学 (1人)	
			平成25年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	152 人	3 人	平成24年度	3 人	0 人	・他大学入学 (3人)	2.0 %
			平成25年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	157 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	602 人	7 人					1.2 %

(注)・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学  
                  ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
情報理工学部 先進理工学科  学士(工学)	4年	190人	3年次 8人	776人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 190 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 190 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 190 ( 8 ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 190 ( 8 ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	1.03倍	留学生数には下記編入生を含む。  平成24年度 ・ 志願者9人 ・ 受験者7人 ・ 合格者4人 ・ 入学者3人  平成25年度 ・ 志願者10人 ・ 受験者9人 ・ 合格者7人 ・ 入学者5人
志願者数	1046 ( - ) [ 7 ]	( - ) [ - ]	917 ( - ) [ 6 ]	( - ) [ - ]	903 ( 25 ) [ 17 ]	( - ) [ - ]	955 ( 24 ) [ 25 ]	( - ) [ - ]		
受験者数	790 ( - ) [ 4 ]	( - ) [ - ]	429 ( - ) [ 3 ]	( - ) [ - ]	684 ( 22 ) [ 13 ]	( - ) [ - ]	715 ( 21 ) [ 20 ]	( - ) [ - ]		
合格者数	219 ( - ) [ 2 ]	( - ) [ - ]	227 ( - ) [ 2 ]	( - ) [ - ]	216 ( 14 ) [ 7 ]	( - ) [ - ]	223 ( 14 ) [ 10 ]	( - ) [ - ]		
B 入学者数	194 ( - ) [ 4 ]	( - ) [ - ]	194 ( - ) [ 2 ]	( - ) [ - ]	201 ( 10 ) [ 7 ]	( - ) [ - ]	197 ( 10 ) [ 8 ]	( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	1.02		1.02		1.05		1.03			

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 4 ] 194	[ - ] -	[ 2 ] 194	[ - ] -	[ 4 ] 200	[ - ] -	[ 4 ] 197	[ - ] -	
2年次	/		[ 4 ] 194	[ - ] -	[ 2 ] 193	[ - ] -	[ 4 ] 197	[ - ] -	
3年次	/		/		[ 7 ] 204	[ - ] -	[ 7 ] 201	[ - ] -	
4年次	/		/		/		[ 7 ] 203	[ - ] -	
計	[ 4 ] 194		[ 6 ] 388		[ 13 ] 597		[ 22 ] 798		

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(情報理工学部 先進理工学科)

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	194 人	1 人	平成22年度	0 人	0 人	・他大学入学 (1人)	0.5 %
			平成23年度	0 人	0 人		
			平成24年度	1 人	0 人		
			平成25年度	0 人	0 人		
平成23年度 入学者	194 人	4 人	平成23年度	2 人	0 人	・他の教育機関への入学、転学 (2人) ・学習意欲喪失 (1人) ・家庭の事情 (1人)	2.1 %
			平成24年度	2 人	0 人		
			平成25年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	211 人	3 人	平成24年度	3 人	0 人	・他大学入学 (2人) ・授業料未納除籍 (1人)	1.4 %
			平成25年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	207 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	806 人	8 人					1.0 %

(注)・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
                  ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	
情報理工学部 先端工学基礎課程 (夜間主) 学士(工学)	4年	100人	3年次 5人	410人

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 100 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 100 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 100 ( 5 ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 100 ( 5 ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	1.02倍	
志願者数	168 ( - ) [ 0 ]	( - ) ( - ) [ - ]	225 ( - ) [ 0 ]	( - ) ( - ) [ - ]	199 ( 2 ) [ 0 ]	( - ) ( - ) [ - ]	281 ( 1 ) [ 0 ]	( - ) ( - ) [ - ]		
受験者数	167 ( - ) [ 0 ]	( - ) ( - ) [ - ]	218 ( - ) [ 0 ]	( - ) ( - ) [ - ]	198 ( 2 ) [ 0 ]	( - ) ( - ) [ - ]	279 ( 1 ) [ 0 ]	( - ) ( - ) [ - ]		
合格者数	108 ( - ) [ 0 ]	( - ) ( - ) [ - ]	104 ( - ) [ 0 ]	( - ) ( - ) [ - ]	104 ( 1 ) [ 0 ]	( - ) ( - ) [ - ]	103 ( 1 ) [ 0 ]	( - ) ( - ) [ - ]		
B 入学者数	102 ( - ) [ 0 ]	( - ) ( - ) [ - ]	100 ( - ) [ 0 ]	( - ) ( - ) [ - ]	102 ( 1 ) [ 0 ]	( - ) ( - ) [ - ]	104 ( 1 ) [ 0 ]	( - ) ( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	1.02		1.00		1.02		1.04			

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。



(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 0 ] 102	[ - ] -	[ 0 ] 100	[ - ] -	[ 0 ] 102	[ - ] -	[ 0 ] 103	[ - ] -	
2年次	/		[ 0 ] 99	[ - ] -	[ 0 ] 96	[ - ] -	[ 0 ] 101	[ - ] -	
3年次			/		/		[ 0 ] 94	[ - ] -	[ 0 ] 95
4年次	/						/		[ 0 ] 89
計			[ 0 ] 102	[ 0 ] 199	[ 0 ] 292	[ 0 ] 388			

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(情報理工学部 先端工学基礎課程)

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	102 人	14 人	平成22年度	3 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学 (1人) ・進路変更 (1人) ・除籍 (1人)	13.7 %
			平成23年度	6 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学 (3人) ・就職 (1人) ・除籍 (2人)	
			平成24年度	5 人	0 人	・授業料未納除籍 (2人) ・他大学入学 (1人) ・就職 (1人) ・仕事の都合 (1人)	
			平成25年度	0 人	0 人		
平成23年度 入学者	100 人	6 人	平成23年度	4 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学 (3人) ・除籍 (1人)	6.0 %
			平成24年度	2 人	0 人	・授業料未納除籍 (1人) ・家庭の事情 (1人)	
			平成25年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	103 人	2 人	平成24年度	2 人	0 人	・他大学入学 (1人) ・他大学受験 (1人)	1.9 %
			平成25年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	105 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	410 人	22 人					5.4 %

(注)・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<情報理工学部 総合情報学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
総合文化科目	人文・社会科学科目	哲学A	2・3前		2		1							
		哲学B	2・3後		2		1							
		倫理学A	2・3前		2			1						
		倫理学B	2・3後		2			1						
		心理学A	2・3前		2			1						
		心理学B	2・3後		2			1						
		歴史学A	2・3前		2							兼	1	
		歴史学B	2・3後		2							兼	1	
		科学史A	2・3前		2				1					
		科学史B	2・3後		2				1					
		文学A	2・3前		2			1						
		文学B	2・3後		2			1						
		美術A	2・3前		2							兼	1	
		美術B	2・3後		2							兼	1	
		音楽A	2・3前		2							兼	1	
		音楽B	2・3後		2							兼	1	
		経済学A	2・3前		2							兼	1	
		経済学B	2・3後		2							兼	1	
		社会学A	2・3前		2							兼	1	
		社会学B	2・3後		2							兼	1	
		法学A	2・3前		2							兼	1	
		法学B	2・3後		2							兼	1	
		政治学A	2・3前		2			1	4	0			専任教員が平成25年度に専任教員に昇任 (25)	
		政治学B	2・3後		2			1	4	0			専任教員が平成25年度に専任教員に昇任 (25)	
		地理学A	2・3前		2							兼	1	
		地理学B	2・3後		2							兼	1	
社会思想史A	2・3前		2							兼	1			
社会思想史B	2・3後		2							兼	1			
文化人類学A	2・3前		2							兼	1			
文化人類学B	2・3後		2							兼	1			
文章表現法	2・3前		2			1								
技術史	2・3前		2				1							
言語文化科目	言語文化基礎科目 I	Academic Written English I	1前	1			3 3	2 4	2 4	3 3		兼	6	専任教員1名が平成24年度に定年退職のため、専任教員2名、専任教員3名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教員3名、専任教員3名に対応 (24) 専任教員及び専任教員の負担軽減のため、専任教員3名、専任教員2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当教員への変更 (22)
		Academic Spoken English I	1前	1			2 3	1 3	3 5	4 4		兼	6	専任教員1名が平成24年度に定年退職のため、専任教員1名、専任教員4名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教員2名、専任教員4名に対応 (24) 専任教員及び専任教員の負担軽減のため、専任教員2名、専任教員3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任教員の負担軽減のため、専任教員4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)
		Academic Written English II	1後	1			3 3	2 4	2 4	3 3		兼	6	専任教員1名が平成24年度に定年退職のため、専任教員2名、専任教員3名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教員3名、専任教員3名に対応 (24) 専任教員及び専任教員の負担軽減のため、専任教員3名、専任教員2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当教員への変更 (22)

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	Academic Spoken English II	1後	1			2 3	1 3	3 5	4 4			兼 7 専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授1名、専任准教授4名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名に対応 (24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)
言語文化応用科目 I	Academic English for the Second Year I	2前	1			1 3	2 2	1 1	0 0			兼 7 専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授1名、専任准教授1名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授1名に対応 (24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	Academic English for the Second Year II	2後	1			1 3	2 2	1 1	0 0			兼 6 専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授1名、専任准教授1名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授1名に対応 (24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
言語文化基礎科目 II	独語第一	1・2前		1		1 1	0 0	1 1	0 0			兼 4 専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
	独語第二	1・2後		1		1 1	0 0	1 1	0 0			兼 4 平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
	仏語第一	1・2前		1		1 1	0 0					兼 1 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	仏語第二	1・2後		1		1 1	0 0					兼 1 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	露語第一	1・2前		1				1 1				兼 1
	露語第二	1・2後		1				1 1				兼 1
	中国語第一	1・2前		1								兼 4
	中国語第二	1・2後		1								兼 4
	韓国朝鮮語第一	1・2前		1								兼 1
	韓国朝鮮語第二	1・2後		1								兼 1
言語文化応用科目 II	選択独語第一	1~4前		1		1 1	0 0	1 1				兼 2 平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
	選択独語第二	1~4後		1		1 1	0 0	1 1				兼 2 平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
	選択仏語第一	1~4前		1								兼 1
	選択仏語第二	1~4後		1								兼 1
	選択露語第一	1~4前		1				1 1				兼 1
	選択露語第二	1~4後		1				1 1				兼 1
	選択中国語第一	1~4前		1			1 1					兼 2
	選択中国語第二	1~4後		1			1 1					兼 2
	選択韓国朝鮮語第一	1~4前		1								兼 1
	選択韓国朝鮮語第二	1~4後		1								兼 1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
言語文化 演習科目	英語演習	2前		2		2 4-3	3 4-4				兼1	専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授2名、専任准教授3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)	
	独語演習	2前		2		4-0	1 4-0				兼1	教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授3名で対応(24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
	独語運用演習	2後		2			1 4-0				兼1	教育内容充実のため、専任准教授で対応(25)	
	仏語演習	2前		2							兼1	専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	仏語運用演習	2後		2							兼1	専任教授1名が平成21年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
	露語演習	2前		2			1						教育内容充実のため、専任准教授で対応(25)
	露語運用演習	2後		2			1						専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	中国語演習	2前		2		1						兼2	
	中国語運用演習	2後		2		1						兼2	
	韓国朝鮮語演習	2前		2								兼1	
	韓国朝鮮語運用演習	2後		2								兼1	
	日本語演習	2後		2								兼1	
国際文化演習	2前		2								兼1		
言語表現演習	2前		2								兼1		
日本語・日本文化科目	日本語第一	1前	2			4-2	4-0				兼1	専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(23)	
	日本語第二	1後	2			4-2	4-0				兼1	教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22)	
	日本語第三	2前	2			1					兼2	専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(23)	
	日本文化A	1前		2							兼1	教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22)	
	日本文化B	1後		2							兼1	教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22)	
	日本文化C	2前		2							兼1	教育内容充実のため、専任教授1名で対応(23)	
日本文化科目	日本文化D	2後		2							兼1		
	日本文化E	2前		2			1				兼1		
	健康スポーツ科学科目	健康・体力づくり実習	1・2前	1			1	4-3				兼8	専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任。また、教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授3名で対応(24)
		健康論	1・2後	1			3 4-2	3 5-4				兼8	専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
		生涯スポーツ演習A	2・3・4前	1			1 4-2	2 3-2				兼9	教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授3名で対応(25)
		生涯スポーツ演習B	2・3・4後	1			1	1				兼9	専任教授が平成23年度に定年退職のため、専任准教授に変更。また、専任准教授2名が平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任(24)
生涯スポーツ演習C		2・3・4集中	1								兼2	専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
生涯スポーツ演習D		2・3・4集中	1								兼7	より教育内容に即した担当者に変更。(25)	
理工系教養科	宇宙・地球科学	1・2後 1後2前 2・3後		2		4-0					兼1	専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任(24)	
											専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)		
											バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(22)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
目	物理学概論第三	2・3前		2		1						<p>学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加 (23)</p> <p>学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加 (24)</p> <p>専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任 (24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。</p> <p>より教育内容に即した担当者に変更 (23)</p> <p>専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)</p> <p>専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任 (24)</p> <p>より教育内容に即した担当者に変更 (23)</p> <p>現代数学入門A及び現代数学入門Bの担当教員が、平成23年度と担当科目を交替して担当することによる変更 (24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更 (23)</p> <p>専任教授が平成24年度に転出のため、専任准教授で対応。(25)</p> <p>現代数学入門A及び現代数学入門Bの担当教員が、平成23年度と担当科目を交替して担当することによる変更 (24)</p>
	UECパスポートセミナー	1後		2		1	1					
	生物学	1・2・3後		2			1					
	化学とエネルギー	2・3後 前		2		1	0	1	0			
	材料化学	1・2後		2		2	1	1	0			
	現代数学入門A	1・2・3後 2・3・4前		2		1	0	1				
現代数学入門B	2・3・4前		2		1	0	1	0				
上級科目	A類	エートス論	3・4前	2			1				<p>専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任 (25)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更 (24)</p> <p>専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任 (25)</p> <p>学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加 (23)</p>	
	文化と現代社会	人間と外交	3・4後 前	2		1	1	0				
	現代の世界政治	3・4後	2		1	1	0					
	宗教と倫理	3・4後	2			1						
	現代の教育	3・4前	2		1							
	教育と憲法(日本国憲法)	3・4前	2		1							
	教育の歴史	3・4後	2		1							
	人間と教育	3・4後	2		1							
B類	言語によるコミュニケーション	日本語による文章表現	3・4前 後 前	2		1	0			<p>教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更 (24)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授1名で対応 (24)</p> <p>教育内容充実のため、専任准教授で対応 (25)。</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更 (24)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授1名で対応 (24)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授1名で対応 (24)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育体系のバランスを考慮し開講学期を変更。また、専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない(24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更 (24)</p> <p>専任教授が平成24年度に定年退職のため、専任准教授で対応。(25)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更 (24)</p>		
		Reading Scientific Research	3・4前 (偶数年度開講)	2		1						
		Research Writing	3・4後 (奇数年度開講)	2			1					
		Research Presentation	3・4前 (偶数年度開講)	2		1						
		Advanced Reading in Academic English	3・4後 (偶数年度開講)	2			1					
		English for Interpersonal Communication	3・4前 後 (偶数年度開講)	2		1	0					
		English for Intercultural Communication	3・4後 前 (奇数年度開講)	2			1	0				
Communication in Academic Environments	3・4前 (奇数年度開講)	2		1	0	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	Exploring Issues in Science, Technology and Society	3・4後 (奇数年度開講)		2		1	0				兼1	専任教授が平成24年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24) バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更(24) バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授1名で対応(24) バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任准教授1名で対応(24) バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24) 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	Preparation for Overseas Study	3・4前 (奇数年度開講)		2							兼1	
	Preparation for Graduate School	3・4後 (偶数年度開講)		2		1						
	English for Examinations	3・4前 (偶数年度開講)		2			1					
	English for Workplaces	3・4後 (奇数年度開講)		2							兼1	
	外国語とその運用A【独語】	3・4前		2							兼1	
	外国語とその運用A【仏語】	3・4前		2							兼1	
	外国語とその運用A【露語】	3・4前		2			1					
	外国語とその運用A【中国語】	3・4前		2		1						
	外国語とその運用A【韓国朝鮮語】	3・4前		2							兼1	
	外国語とその運用B【独語】	3・4後		2							兼1	
	外国語とその運用B【仏語】	3・4後		2							兼1	
外国語とその運用B【露語】	3・4後		2			1						
外国語とその運用B【中国語】	3・4後		2		1							
外国語とその運用B【韓国朝鮮語】	3・4後		2							兼1		
C類	比較文化論	3・4後 前		2		1	0	1				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、より教育内容に即した担当者に変更(24)  教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24) より教育内容に即した担当者に変更(24)
異文化の理解	地域文化論	3・4後		2				1				
	文化干渉論	3・4前		2				1				
	認知言語学	3・4前 後		2				1				
	文化と言語	3・4後		2		1	0	1				
D類	日本語とコミュニケーションA	3・4前		2		1	2	1	0			専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)  専任教授が平成23年度に定年退職のため、専任准教授に変更(24)  専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任(25)
日本文学	日本語とコミュニケーションB	3・4後		2				1				
	日本の科学と技術A	3・4前		2				1		1		
	日本の科学と技術B	3・4後		2		1	0	1	2			
	王朝物語の精神史	3・4前		2		1						
	江戸の社会と数学	3・4前		2				1				
	日本の内政と外交	3・4前		2		1	1	0				
	倫理思想論	3・4後		2				1				
E類	数学の哲学	3・4前		2		1						兼3  学生の学習機会を増やすため、選択科目を追加(22)
科学技術と人間	科学技術と人間	3・4前		2								
	伝統科学と近代科学の相克	3・4後		2				1				
	科学的实在論の可能性	3・4前		2		1						
	内包的文脈の諸相	3・4後		2		1						
	認識の諸相	3・4後		2							兼3	
情報と職業	3・4前		2							兼1		
F類	芸術と人間	御伽草子の想像力	3・4前		2		1					
	近代小説の人間学	3・4後		2		1						
G類	現代の科学	環境論	3・4前 後		2						兼6	バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(22)  専任教授1名が平成24年度に転出のため、専任教授1名、専任准教授3名で対応。(25) バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授2名で対応(24)
	認知科学	3・4後		2			1					
	現代物理学を創った人々	3・4前 (偶数年度開講)		2		2	1	2	3			



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	物理学の発展と最前線	3・4後 (奇数年度開講)		2		2	1	2	3			専任教授1名が平成24年度に転出のため、専任教授1名、専任准教授3名で対応。(25) バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授2名で対応(24) 学生の学習機会を増やすため、選択科目を追加(24) 教育内容充実のため、専任准教授1名で対応(24)  専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授5名、専任准教授7名で対応。(25) 教育内容充実のため、専任教授6名、専任准教授6名で対応(24)
	サイエンス・コミュニケーション演習	3前		2		1						
	応用幾何学	3・4前		2				1				
	応用代数学	3・4後		2				1				
	現代化学	3・4後		2		6	5	6	7			
H類	身体運動のバイオメカニクス	3・4前		2			1				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、専任准教授が平成24年度に専任教授に昇任(24)  より教育内容に即した担当者に変更(25)  専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24) 専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)	
健康とスポーツの科学	運動と筋の科学	3・4後 前		2		1	4	0				
	健康の科学	3・4後		2		4	0	1				
	エイジングの健康科学	3・4前		2		1						
	スポーツとコミュニケーション	3・4後		2				1				
	体力の科学	3・4後		2				1				
	日常生活の対人関係	3・4前		2		1	4	0				
	現代社会と対人関係	3・4後		2		1	4	0				
国際科目	UEC Academic Skills I A (Computer Literacy)	1~4前		2			4	0			兼 1 専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	UEC Academic Skills I B (Computer Literacy)	1~4後		2			4	0			兼 1 専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	UEC Academic Skills II A (Cross-cultural Communication)	1~4前		2			4	0			兼 1 専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	UEC Academic Skills II B (Cross-cultural Communication)	1~4後		2			4	0			兼 1 専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	UEC Academic Skills III A (Research and Presentation)	1~4前 3~4前		2			4	0			兼 1 専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)	
	UEC Academic Skills III B (Research and Presentation)	1~4後 3~4後		2			4	0			兼 1 専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)	
	UEC Academic Skills IV A (Comprehensive Reading and Summary Writing)	4前 1~4前 3~4前		2			4	0			兼 1 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(25) 専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)	
	UEC Academic Skills IV B (Comprehensive Reading and Summary Writing)	1~4後 3~4後		2			4	0			兼 1 専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)	
	UEC Academic Skills V A (Maths and Scientific Writing)	4前 1~4前 3~4前		2			4	0			兼 1 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(25) 専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)	
	UEC Academic Skills V B (Maths and Scientific Writing)	1~4後 3~4後		2			4	0			兼 1 専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)	
	Applicable Modelling with Mathematics 1	3・4前 4前		2			1				兼 1 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(24)	
	Applicable Modelling with Mathematics 2	3・4後 4後		2			1				兼 1 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(24)	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
実践教育科目	初年次導入科目												
	基礎科学実験A	1通	2			3 3 5	7 4 9	5 7		12 12	14 10	兼 7	教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授7名、専任助教14名で対応(25) 専任准教授負担軽減のため、専任教授4名、専任准教授5名、専任助教14名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) より教育内容に即した担当者に変更(23) 実験教育内容充実のため、専任教授7名、専任准教授7名、専任助教10で対応(22)
	基礎科学実験B	1通	2			1 2	3 3	4 2		3		兼 9	専任准教授2名が、平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任(24) より教育内容に即した担当者に変更(23) 実験教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名、専任助教3名で対応(22)
	コンピューターテラシー	1前	2			3 2 3	4 4 5	1 3	1 1	2 4 1	3 3 5		より教育内容に即した担当者に変更(25) 教育内容充実のため、専任教授4名、専任准教授4名、専任講師1名、専任助教3名で対応(24) より教育内容に即した担当者に変更(23) 教育内容充実のため、より教育内容に即した担当者へ変更し、専任教授1名、専任准教授3名、専任講師2名、専任助教5名で対応(22)
	基礎プログラミングおよび演習	1後	2			4 1	8 7	7 9		2 5	1 1		教育内容充実のため、専任教授4名、専任准教授7名、専任助教1名で対応(25) 専任准教授、専任助教負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授8名、専任助教1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授9名、専任助教2名で対応(23) 専任助教の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授9名、専任助教1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
倫理・キャリア教育科目	キャリア教育演習	1通(隔週開講)	1									兼 1	就業力育成強化のための科目を新設(23)
	キャリア教育演習リーダー	3通(隔週開講)	1									兼 1	就業力育成強化のための科目を新設(23)
	電気通信大学概論	1前 1通(隔週開講) 1・2前	2			6	0					兼 1	教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23) 教育内容充実のため、学長及びOB等の兼任教員によるオムニバス形式の授業に変更(22)
	総合コミュニケーション科学	2後	2			4							
	キャリアデザイン1 キャリアデザインA	1・2後 2・3前	2			1						兼 3	教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更(23)
	キャリアデザイン2 キャリアデザインB	2・3前 2・3後	2			1						兼 3	教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更(23)
	エンジニアリングデザイン1	3前	2			1							PBL手法による教育内容を充実・強化するため、通年3単位を分割し、半期2単位2科目に変更(25)
	エンジニアリングデザイン2	3後	2			1							PBL手法による教育内容を充実・強化するため、通年3単位を分割し、半期2単位2科目に変更(25)
	エンジニアリングデザイン キャリアデザインC	3通	2 3			4	0						キャリア教育の後半段階(3年次)において、PBL手法による教育内容を充実・強化し、単位数を増加するとともに、内容をより反映した科目名に変更(23)
	インターンシップ インターンシップ(海外)	3前 3前	2 2					4 4					
	ベンチャービジネス概論	3・4後 前	2			1	0					兼 2	専任教授が平成24年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
	知的財産権	3・4前 後	2									兼 1	教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
	技術者倫理	3・4後	2									兼 1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
技術英語科目	Technical English - Basic English for Science	3前	2			7	8	2	3			兼 10	より教育内容に即した担当者に変更(25) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授7名、専任准教授3名で対応。なお、学生の教育には支障はない。(24)
	Technical English - Intermediate English for Science	3後	2			7	8	2	3			兼 11	より教育内容に即した担当者に変更(25) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授7名、専任准教授3名で対応。なお、学生の教育には支障はない。(24)
専門科目	理数基礎科目	微分積分学第一	1前	2		4	3	2	1	1	0	兼 4	専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当者への変更及び専任講師1名が平成21年度に専任准教授に昇任(22)
		微分積分学第二	1後	2		2	3	3	2	2	4	兼 2	専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応(24) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応(22)
	線形代数学第一	1前	2		0	2	3	1	1	0	兼 5	専任教授が平成24年度に転出のため、専任准教授2名で対応。(25) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授3名で対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教授1名に変更及び専任講師1名が平成21年度に専任准教授に昇任。なお、学生の教育に支障はない。(22)	
	線形代数学第二	1後	2		0	2	1	1	2	兼 4	専任教授が平成24年度に転出のため、専任准教授2名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授2名で対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)		
	解析学	1後	2		3	3	2	2	1	0	兼 2	教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名で対応(25) 専任教授1名が平成23年度に定年退職のため、専任教授2名、専任准教授2名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名で対応(23) 専任教授、専任講師(平成21年度に専任准教授に昇任)の負担軽減のため、専任教授3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)	
	数学演習第一	1前	1			1	0	3	1	2	兼 4	教育内容充実のため、専任准教授3名で対応(24) より教育内容に即した担当者に変更(23)	
	数学演習第二	1後	1					3	4	2	兼 4	教育内容充実のため、専任准教授4名で対応(24) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任准教授4名で対応(うち1名は平成21年度に専任講師から専任准教授に昇任)(22)	
	物理学概論第一	1前	2			10	6	2	6	6	3	兼 3	より教育内容に即した担当者に変更(25) 専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任(24) より教育内容に即した担当者への変更(22)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	物理学概論第二	1後	2			7 6 8	5 6 4				兼 2	より教育内容に即した担当者に変更(23) より教育内容に即した担当者への変更(22)
	化学概論	1前	2			2 4 4 5	4 5 3 2 3				兼 2	教育内容充実のため、専任教授4名、専任准教授4名で対応(25) 専任准教授2名が平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任(24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授5名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授5名、専任准教授3名で対応(22)
学科専門基礎科目	離散数学	2前	2			2						
	確率論	2前	2			1			1			
	オペレーションズ・リサーチ基礎	2後	2			2	1					平成22年度に専任教授1名が定年退職のため、専任教授1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	アルゴリズムとデータ構造並びに同演習	2前	3			1	3 2					専任准教授1名が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	プログラミング演習	2後	1			1 2 3 2	1 3 2					専任准教授1名が平成23年度に専任教授に昇任(24) より教育内容に即した担当者への変更(23)
	計算機工学	2後	2			1						
	総合情報学基礎	2後	2			18 13 17	15 14 14 19	2	11 8 9			より教育内容に即した担当者に変更(25) 専任准教授4名が平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任。また、教育内容充実のため、専任教授17名、専任准教授15名、専任講師2名、専任助教11名で対応(24) 教育内容充実のため、専任教授13名、専任准教授19名、専任講師2名、専任助教9名で対応(23)
	電気・電子回路	2通		4		2						
	応用数学	2前		2		2						
数値解析	2後		2		1							
論理回路	2後		2		1							
統計学	2後		2		1 2	1 0				兼 1	専任准教授が平成24年度に専任教授に昇任(24)	
① 専門科目 メディア情報学コース	プログラミング言語実験	3前	2			18 13 17	14 14 15	2	8 11			より教育内容に即した担当者に変更(25) 教育内容充実のため、専任教授17名、専任准教授15名、専任講師2名及び専任助教11名で対応(24)
	メディア情報学実験	3後	2			4	7		4			
	輪講	4前	1			13 18	14	2	8 11			教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授14名、専任講師2名、専任助教11名で対応(25)
	卒業研究	4後	4			13 18	14	2	8 11			教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授14名、専任講師2名、専任助教11名で対応(25)
	メディアリテラシー	3前		2			1					教育内容充実のため、専任准教授2名で対応(25)
	コミュニケーション論	3前		2			2 1 0					専任准教授が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	インタラクティブシステム	3前		2			1					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)
	物体認識論	3前 後		2			1					
	メディア情報学特別講義	3前		2								
	人間工学	3前		2		1						
	計算機アーキテクチャー	3前		2		1						
	オペレーティングシステム	3後		2		1 0	1					より教育内容に即した担当者に変更(25) 専任准教授1名が平成25年度に専任教授に昇任(25)
	情報通信システム	3前		2		1	2 1					
	メディア論	3後		2		1						
	メディア分析法	3前		2			1					
	認知工学	3後		2		1	1 0					専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任(25)
	ビジュアル情報処理	3後 前		2			1					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
知的情報処理	3後		2		1	1 0					専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)	
心理情報学	3後		2			1						
メディアネットワーク	3前		2		1							
ソフトウェア工学	3後		2					1				
ユビキタスネットワーク	3後		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
② 経営情報学コース	コンピュータネットワーク	3後 前		2			1					教育内容充実のため、専任准教授で対応(24) 教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)		
	情報と法規	3前		2							兼 1			
	社会情報論	3前		2		1	0				兼 1	専任教授が平成24年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)		
	基礎数学演習第一	1前		1			1	2	1	0		専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)		
	基礎数学演習第二	1後		1			1	2	1	0		専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)		
	基礎物理学演習第一	1前		1			1	2	1	2		専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)		
	基礎物理学演習第二	1後		1			1	2	1	2		教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)		
	情報処理演習第一	2前		2					1			専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)		
	情報処理演習第二	2後		2					1			教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)		
	プログラミング言語実験	3前		2			18	14					より教育内容に即した担当者に変更(25)	
	経営情報学実験	3後		2			13	17	14	15	2	8	11	教育内容充実のため、専任教授17名、専任准教授15名、専任講師2名及び専任助教11名で対応(24)
	輪講	4前		1			5	6	3	2	2	2		専任准教授1名が平成25年度に専任教授に昇任(25)
	卒業研究	4後		4			13	18	14	2	8	11		教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授14名、専任講師2名、専任助教11名で対応(25)
	経済性工学	3前 4前		2			1	1	0					教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授14名、専任講師2名、専任助教11名で対応(25)
	生産管理	3前		2			1	0	1	0			兼 1	教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(25) 専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)
	人間工学	3前		2			1							専任教授が平成22年度に定年退職のため、専任准教授で対応(24)
	オペレーションズ・リサーチ	3前		2			1							
	データベース論	3前		2					1					
	情報通信システム	3前		2			1	2	1					専任准教授1名が平成25年度に専任教授に昇任(25)
	経営情報学特別講義	3前		2									兼 15	
	コミュニケーション論	3前		2				2	0					教育内容充実のため、専任准教授2名で対応(25)
	アルゴリズム論	3前		2					1					専任准教授が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	信頼性工学	3後		2			1							
	品質管理	3後 前		2			1							教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
	心理情報学	3後		2					1					
	マーケティング科学	3後		2									兼 1	
	金融工学	3後		2			1	1	0					専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	ソフトウェア工学	3後		2						1				
	認知工学	3後		2			1	1	0					専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任(25)
	多変量解析	3後		2			1	1	0					専任准教授が平成24年度に専任教授に昇任(24)
	情報と法規	3前		2									兼 1	
	社会情報論	3前		2			1	0					兼 1	専任教授が平成24年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)
基礎数学演習第一	1前		1				1	2	1	0			専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)	
基礎数学演習第二	1後		1				1	2	1	0			専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)	
基礎物理学演習第一	1前		1				1	2	1	2			専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)	
基礎物理学演習第二	1後		1				1	2	1	2			教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)	
													専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)	
													教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
③ 専 門 科 目 セ キ ユ リ テ ィ 情 報 学 コ ー ス	情報処理演習第一	2前		2					1				
	情報処理演習第二	2後		2					1				
	プログラミング言語実験	3前	2			18 13	14 17	14 15	2	8	11	より教育内容に即した担当者に変更(25) 教育内容充実のため、専任教授17名、専任准教授15名、専任講師2名及び専任助教11名で対応(24)	
	セキュリティ情報学実験	3後	2			5		4		1			
	輪講	4前	1			13	18		14	2	8	11	教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授14名、専任講師2名、専任助教11名で対応(25)
	卒業研究	4後	4			13	18		14	2	8	11	教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授14名、専任講師2名、専任助教11名で対応(25)
	コンテンツセキュリティ	3後		2			1						
	ネットワークセキュリティ	3後		2					1				
	ユビキタスネットワーク	3後		2			1						
	オペレーティングシステム	3後		2			4	0	1				
	数論アルゴリズム	3前		2			1						
	物体認識論	3後		2					1				
	情報通信システム	3前		2			1		2	1			
	メディアネットワーク	3前		2			1						
	暗号理論	3後		2			1						
	ソフトウェアセキュリティ	3後		2					1				
	ハードウェアセキュリティ	3後		2			1		4	0			
	計算機アーキテクチャー	3前		2			1						
	アルゴリズム論	3前		2					1				
	ソフトウェア工学	3後		2						1			
	コンピュータネットワーク	3後 前		2					1				
	信頼性工学	3後		2			1						
	情報と法規	3前		2									
	セキュリティ情報学特別講義	3前		2									
	社会情報論	3前		2			4	0					
	基礎数学演習第一	1前		1					4	2	4	0	
	基礎数学演習第二	1後		1					4	2	4	0	
	基礎物理学演習第一	1前		1					4	2	4	2	
基礎物理学演習第二	1後		1					4	2	4	2		
情報処理演習第一	2前		2						1				
情報処理演習第二	2後		2						1				

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 46	科目 251	科目 0	科目 297	科目 48 [ 2]	科目 257 [ 6]	科目 0 [ 0]	科目 305 [ 8]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<情報理工学部 情報・通信工学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
総合文化科目 人文・社会科学科目	哲学A	2・3前		2		1								
	哲学B	2・3後		2		1								
	倫理学A	2・3前		2			1							
	倫理学B	2・3後		2			1							
	心理学A	2・3前		2			1							
	心理学B	2・3後		2			1							
	歴史学A	2・3前		2							兼	1		
	歴史学B	2・3後		2							兼	1		
	科学史A	2・3前		2			1							
	科学史B	2・3後		2			1							
	文学A	2・3前		2		1								
	文学B	2・3後		2		1								
	美術A	2・3前		2							兼	1		
	美術B	2・3後		2							兼	1		
	音楽A	2・3前		2							兼	1		
	音楽B	2・3後		2							兼	1		
	経済学A	2・3前		2							兼	1		
	経済学B	2・3後		2							兼	1		
	社会学A	2・3前		2							兼	1		
	社会学B	2・3後		2							兼	1		
	法学A	2・3前		2							兼	1		
	法学B	2・3後		2							兼	1		
	政治学A	2・3前		2			1	4	0			専任教員が平成25年度に専任教員に昇任 (25)		
	政治学B	2・3後		2			1	4	0			専任教員が平成25年度に専任教員に昇任 (25)		
	地理学A	2・3前		2							兼	1		
	地理学B	2・3後		2							兼	1		
社会思想史A	2・3前		2							兼	1			
社会思想史B	2・3後		2							兼	1			
文化人類学A	2・3前		2							兼	1			
文化人類学B	2・3後		2							兼	1			
文章表現法	2・3前		2			1								
技術史	2・3前		2				1							
言語文化科目	言語文化基礎科目 I	Academic Written English I	1前	1			3	2	2	3		兼	6	専任教員1名が平成24年度に定年退職のため、専任教員2名、専任教員3名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教員3名、専任教員3名に対応 (24) 専任教員及び専任教員の負担軽減のため、専任教員3名、専任教員2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当教員への変更 (22)
		Academic Spoken English I	1前	1			2	1	3	4		兼	6	専任教員1名が平成24年度に定年退職のため、専任教員1名、専任教員4名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教員2名、専任教員4名に対応 (24) 専任教員及び専任教員の負担軽減のため、専任教員2名、専任教員3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任教員の負担軽減のため、専任教員4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)
		Academic Written English II	1後	1			3	2	2	3		兼	6	専任教員1名が平成24年度に定年退職のため、専任教員2名、専任教員3名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教員3名、専任教員3名に対応 (24) 専任教員及び専任教員の負担軽減のため、専任教員3名、専任教員2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当教員への変更 (22)



科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	Academic Spoken English II	1後	1			2 3	1 3	3 5	4 4			兼 7 専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授1名、専任准教授4名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名に対応 (24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)
言語文化応用科目 I	Academic English for the Second Year I	2前	1			1 3	2 2	1 1	0 0			兼 7 専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授1名、専任准教授1名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授1名に対応 (24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	Academic English for the Second Year II	2後	1			1 3	2 2	1 1	0 0			兼 6 専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授1名、専任准教授1名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授1名に対応 (24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
言語文化基礎科目 II	独語第一	1・2前		1		1 1	0 0	1 1	0 0			兼 4 専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 平成22年度に専任准教授の補充による変更 (23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
	独語第二	1・2後		1		1 1	0 0	1 1	0 0			兼 4 平成22年度に専任准教授の補充による変更 (23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
	仏語第一	1・2前		1		1 1	0 0					兼 1 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	仏語第二	1・2後		1		1 1	0 0					兼 1 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	露語第一	1・2前		1				1 1				兼 1 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	露語第二	1・2後		1				1 1				兼 1 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	中国語第一	1・2前		1								兼 4 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	中国語第二	1・2後		1								兼 4 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	韓国朝鮮語第一	1・2前		1								兼 1 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	韓国朝鮮語第二	1・2後		1								兼 1 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
言語文化応用科目 II	選択独語第一	1~4前		1		1 1	0 0	1 1				兼 2 平成22年度に専任准教授の補充による変更 (23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
	選択独語第二	1~4後		1		1 1	0 0	1 1				兼 2 平成22年度に専任准教授の補充による変更 (23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
	選択仏語第一	1~4前		1								兼 1 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	選択仏語第二	1~4後		1								兼 1 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	選択露語第一	1~4前		1				1 1				兼 1 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	選択露語第二	1~4後		1				1 1				兼 1 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	選択中国語第一	1~4前		1			1 1					兼 2 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	選択中国語第二	1~4後		1			1 1					兼 2 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	選択韓国朝鮮語第一	1~4前		1								兼 1 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	選択韓国朝鮮語第二	1~4後		1								兼 1 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
言語文化演習科目	英語演習	2前		2		2 4-3	3 4-4				兼1	専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授2名、専任准教授3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授3名で対応(24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
	独語演習	2前		2		4-0	1 4-0				兼1	教育内容充実のため、専任准教授で対応(25) 専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 専任教授1名が平成21年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
	独語運用演習	2後		2			1 4-0				兼1	教育内容充実のため、専任准教授で対応(25) 専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	仏語演習	2前		2							兼1		
	仏語運用演習	2後		2							兼1		
	露語演習	2前		2				1					
	露語運用演習	2後		2				1					
	中国語演習	2前		2		1						兼2	
	中国語運用演習	2後		2		1						兼2	
	韓国朝鮮語演習	2前		2								兼1	
	韓国朝鮮語運用演習	2後		2								兼1	
日本語演習	2後		2								兼1		
国際文化演習	2前		2								兼1		
言語表現演習	2前		2								兼1		
日本語・日本文化科目	日本語第一	1前	2			4-2	4-0				兼1	専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22)	
	日本語第二	1後	2			4-2	4-0				兼1	専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22)	
	日本語第三	2前	2			1					兼2	教育内容充実のため、専任教授1名で対応(23)	
	日本文化A	1前		2							兼1		
	日本文化B	1後		2							兼1		
	日本文化C	2前		2							兼1		
日本文化科目	日本文化D	2後		2							兼1		
	日本文化E	2前		2			1				兼1		
	健康スポーツ科学科目	健康・体力づくり実習	1・2前	1			1	4-3				兼8	専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任。また、教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授3名で対応(24) 専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
		健康論	1・2後	1			3 4-2	3 5-4				兼8	教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授3名で対応(25) 専任教授が平成23年度に定年退職のため、専任准教授に変更。また、専任准教授2名が平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任(24) 専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
		生涯スポーツ演習A	2・3・4前	1			1 4-2	4 3-2	2			兼9	より教育内容に即した担当者に変更。(25) 専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任(24) 専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
		生涯スポーツ演習B	2・3・4後	1			1	1				兼9	
生涯スポーツ演習C		2・3・4集中	1								兼2		
生涯スポーツ演習D		2・3・4集中	1								兼7		
理工系教養科	宇宙・地球科学	1・2後 1後2前 2・3後		2		4-0					兼1	教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更。 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23) バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(22)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
目	物理学概論第三	2・3前		2		1						<p>学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加 (23)</p> <p>学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加 (24)</p> <p>専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任 (24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。</p> <p>より教育内容に即した担当者に変更 (23)</p> <p>専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)</p> <p>専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任 (24)</p> <p>より教育内容に即した担当者に変更 (23)</p> <p>現代数学入門A及び現代数学入門Bの担当教員が、平成23年度と担当科目を交替して担当することによる変更 (24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更 (23)</p> <p>専任教授が平成24年度に転出のため、専任准教授で対応。(25)</p> <p>現代数学入門A及び現代数学入門Bの担当教員が、平成23年度と担当科目を交替して担当することによる変更 (24)</p>
	UECパスポートセミナー	1後		2		1	1					
	生物学	1・2・3後		2			1					
	化学とエネルギー	2・3後 前		2		1	0	1	0			
	材料化学	1・2後		2		2	1	1	0			
	現代数学入門A	1・2・3後 2・3・4前		2		1	0	1				
現代数学入門B	2・3・4前		2		1	0	1	0				
上級科目	A類	エートス論	3・4前	2			1				<p>専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任 (25)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更 (24)</p> <p>専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任 (25)</p> <p>学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加 (23)</p>	
	文化と現代社会	人間と外交	3・4後 前	2		1	1	0				
	現代の世界政治	3・4後	2		1	1	0					
	宗教と倫理	3・4後	2			1						
	現代の教育	3・4前	2		1							
	教育と憲法(日本国憲法)	3・4前	2		1							
	教育の歴史	3・4後	2		1							
	人間と教育	3・4後	2		1							
B類	言語によるコミュニケーション	日本語による文章表現	3・4前 後 前	2		1	0			<p>教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更 (24)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授1名で対応 (24)</p> <p>教育内容充実のため、専任准教授で対応 (25)。</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更 (24)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授1名で対応 (24)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授1名で対応 (24)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育体系のバランスを考慮し開講学期を変更。また、専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない(24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更 (24)</p> <p>専任教授が平成24年度に定年退職のため、専任准教授で対応。(25)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更 (24)</p>		
		Reading Scientific Research	3・4前 (偶数年度開講)	2		1						
		Research Writing	3・4後 (奇数年度開講)	2			1					
		Research Presentation	3・4前 (偶数年度開講)	2		1						
		Advanced Reading in Academic English	3・4後 (偶数年度開講)	2			1					
		English for Interpersonal Communication	3・4前 後 (偶数年度開講)	2		1	0					
		English for Intercultural Communication	3・4後 前 (奇数年度開講)	2			1	0				
Communication in Academic Environments	3・4前 (奇数年度開講)	2		1	0	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	Exploring Issues in Science, Technology and Society	3・4後 (奇数年度開講)		2		1	0				兼1	専任教授が平成24年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24) バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更(24) バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授1名で対応(24) バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任准教授1名で対応(24) バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24) 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	Preparation for Overseas Study	3・4前 (奇数年度開講)		2							兼1	
	Preparation for Graduate School	3・4後 (偶数年度開講)		2		1						
	English for Examinations	3・4前 (偶数年度開講)		2			1					
	English for Workplaces	3・4後 (奇数年度開講)		2							兼1	
	外国語とその運用A【独語】	3・4前		2							兼1	
	外国語とその運用A【仏語】	3・4前		2							兼1	
	外国語とその運用A【露語】	3・4前		2			1					
	外国語とその運用A【中国語】	3・4前		2		1						
	外国語とその運用A【韓国朝鮮語】	3・4前		2							兼1	
	外国語とその運用B【独語】	3・4後		2							兼1	
	外国語とその運用B【仏語】	3・4後		2							兼1	
	外国語とその運用B【露語】	3・4後		2			1					
外国語とその運用B【中国語】	3・4後		2		1							
外国語とその運用B【韓国朝鮮語】	3・4後		2							兼1		
C類	比較文化論	3・4後 前		2		1	0	1				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、より教育内容に即した担当者に変更(24)  教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24) より教育内容に即した担当者に変更(24)
異文化の理解	地域文化論	3・4後		2				1				
	文化干渉論	3・4前		2				1				
	認知言語学	3・4前 後		2				1				
	文化と言語	3・4後		2		1	0	1				
D類	日本語とコミュニケーションA	3・4前		2		1	2	1	0			専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)  専任教授が平成23年度に定年退職のため、専任准教授に変更(24)  専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任(25)
日本文学	日本語とコミュニケーションB	3・4後		2				1				
	日本の科学と技術A	3・4前		2				1		1		
	日本の科学と技術B	3・4後		2		1	0	1	2			
	王朝物語の精神史	3・4前		2		1						
	江戸の社会と数学	3・4前		2				1				
	日本の内政と外交	3・4前		2		1		1	0			
	倫理思想論	3・4後		2				1				
E類	数学の哲学	3・4前		2		1						兼3  学生の学習機会を増やすため、選択科目を追加(22)
科学技術と人間	科学技術と人間	3・4前		2								
	伝統科学と近代科学の相克	3・4後		2				1				
	科学的实在論の可能性	3・4前		2		1						
	内包的文脈の諸相	3・4後		2		1						
	認識の諸相	3・4後		2							兼3	
情報と職業	3・4前		2							兼1		
F類	芸術と人間	御伽草子の想像力	3・4前		2		1					
	近代小説の人間学	3・4後		2		1						
G類	現代の科学	環境論	3・4前 後		2							兼6  専任教授1名が平成24年度に転出のため、専任教授1名、専任准教授3名で対応。(25) バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授2名で対応(24)
	認知科学	3・4後		2				1				
	現代物理学を創った人々	3・4前 (偶数年度開講)		2		2	1	2	3			

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	物理学の発展と最前線	3・4後 (奇数年度開講)		2		2	1	2	3			専任教授1名が平成24年度に転出のため、専任教授1名、専任准教授3名で対応。(25) バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授2名で対応(24)
	サイエンス・コミュニケーション演習	3前		2		1						学生の学習機会を増やすため、選択科目を追加(24)
	応用幾何学	3・4前		2				1				教育内容充実のため、専任准教授1名で対応(24)
	応用代数学	3・4後		2				1				
	現代化学	3・4後		2		6	5	6	7			専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授5名、専任准教授7名で対応。(25) 教育内容充実のため、専任教授6名、専任准教授6名で対応(24)
H類	身体運動のバイオメカニクス	3・4前		2				1				
健康とスポーツの科学	運動と筋の科学	3・4後 前		2		1	4	0				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、専任准教授が平成24年度に専任教授に昇任(24)
	健康の科学	3・4後		2		4	0	1				より教育内容に即した担当者に変更(25)
	エイジングの健康科学	3・4前		2		1						
	スポーツとコミュニケーション	3・4後		2				1				
	体力の科学	3・4後		2				1				
	日常生活の対人関係	3・4前		2		1	4	0				専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	現代社会と対人関係	3・4後		2		1	4	0				専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
国際科目	UEC Academic Skills I A (Computer Literacy)	1~4前		2			4	0				専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills I B (Computer Literacy)	1~4後		2			4	0				専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills II A (Cross-cultural Communication)	1~4前		2			4	0				専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills II B (Cross-cultural Communication)	1~4後		2			4	0				専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills III A (Research and Presentation)	1~4前 3~4前		2			4	0				専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills III B (Research and Presentation)	1~4後 3~4後		2			4	0				専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills IV A (Comprehensive Reading and Summary Writing)	4前 1~4前 3~4前		2			4	0				教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(25) 専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills IV B (Comprehensive Reading and Summary Writing)	1~4後 3~4後		2			4	0				専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills V A (Maths and Scientific Writing)	4前 1~4前 3~4前		2			4	0				教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(25) 専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills V B (Maths and Scientific Writing)	1~4後 3~4後		2			4	0				専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	Applicable Modelling with Mathematics 1	3・4前 4前		2				1				教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(24)
	Applicable Modelling with Mathematics 2	3・4後 4後		2				1				教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(24)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
実践教育科目	初年次導入科目													
	基礎科学実験A	1通	2			3 3 5	7 4 9	5 7		12 12	14 10	兼 7	教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授7名、専任助教14名で対応(25) 専任准教授負担軽減のため、専任教授4名、専任准教授5名、専任助教14名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) より教育内容に即した担当者に変更(23) 実験教育内容充実のため、専任教授7名、専任准教授7名、専任助教10で対応(22)	
	基礎科学実験B	1通	2			1 2	3 3	4 2			3	兼 9	専任准教授2名が、平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任(24) より教育内容に即した担当者に変更(23) 実験教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名、専任助教3名で対応(22)	
	コンピュータリテラシー	1前	2			2 3	4 1	5 3	1 1	2	4 3 5		より教育内容に即した担当者に変更(25) 教育内容充実のため、専任教授4名、専任准教授4名、専任講師1名、専任助教3名で対応(24) より教育内容に即した担当者に変更(23) 教育内容充実のため、より教育内容に即した担当者へ変更し、専任教授1名、専任准教授3名、専任講師2名、専任助教5名で対応(22)	
	基礎プログラミングおよび演習	1後	2			1 4	2 8	7 7		2 5	1 1		教育内容充実のため、専任教授4名、専任准教授7名、専任助教1名で対応(25) 専任准教授、専任助教負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授8名、専任助教1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授9名、専任助教2名で対応(23) 専任助教の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授9名、専任助教1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)	
倫理・キャリア教育科目	キャリア教育演習	1通(隔週開講)	1									兼 1	就業力育成強化のための科目を新設(23)	
	キャリア教育演習リーダー	3通(隔週開講)	1									兼 1	就業力育成強化のための科目を新設(23)	
	電気通信大学概論	1前 1通(隔週開講) 1・2前	2			6	0					兼 1	教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23) 教育内容充実のため、学長及びOB等の兼任教員によるオムニバス形式の授業に変更(22)	
	総合コミュニケーション科学	2後	2			4								
	キャリアデザイン1 キャリアデザインA	1・2後 2・3前	2			1						兼 3	教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更(23)	
	キャリアデザイン2 キャリアデザインB	2・3前 2・3後	2			1						兼 3	教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更(23)	
	エンジニアリングデザイン1	3前	2			1							PBL手法による教育内容を充実・強化するため、通年3単位を分割し、半期2単位2科目に変更(25)	
	エンジニアリングデザイン2	3後	2			1							PBL手法による教育内容を充実・強化するため、通年3単位を分割し、半期2単位2科目に変更(25)	
	エンジニアリングデザイン キャリアデザインC	3通	2-3			1	0						キャリア教育の後半段階(3年次)において、PBL手法による教育内容を充実・強化し、単位数を増加するとともに、内容をより反映した科目名に変更(23)	
	インターンシップ インターンシップ(海外)	3前 3前	2 2					4 4						
	ベンチャービジネス概論	3・4後 前	2			1	0					兼 2	専任教授が平成24年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)	
	知的財産権 技術者倫理	3・4前 後 3・4後	2 2									兼 1 兼 1	教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
技術英語科目	Technical English – Basic English for Science	3前	2			7	8	2	3			兼 10	より教育内容に即した担当者に変更(25) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授7名、専任准教授3名に対応。なお、学生の教育には支障はない。(24)	
	Technical English – Intermediate English for Science	3後	2			7	8	2	3			兼 11	より教育内容に即した担当者に変更(25) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授7名、専任准教授3名に対応。なお、学生の教育には支障はない。(24)	
専門科目	理数基礎科目	微分積分学第一	1前	2		4	3	2	1	3	1	0	兼 4	専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授1名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当者への変更及び専任講師1名が平成21年度に専任准教授に昇任(22)
		微分積分学第二	1後	2		2	3	3	2	4	2	4	兼 2	専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名に対応(24) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名に対応(22)
	線形代数学第一	1前	2		0	2	2	1	1	2	1	0	兼 5	専任教授が平成24年度に転出のため、専任准教授2名に対応(25) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授3名に対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教授1名に変更及び専任講師1名が平成21年度に専任准教授に昇任。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	線形代数学第二	1後	2		0	2	2	1	2	1	2	兼 4	専任教授が平成24年度に転出のため、専任准教授2名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授2名に対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)	
	解析学	1後	2		3	2	3	2	1	0	1	0	兼 2	教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名に対応(25) 専任教授1名が平成23年度に定年退職のため、専任教授2名、専任准教授2名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名に対応(23) 専任准教授、専任講師(平成21年度に専任准教授に昇任)の負担軽減のため、専任教授3名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	数学演習第一	1前	1			1	0	3	2				兼 4	教育内容充実のため、専任准教授3名に対応(24) より教育内容に即した担当者に変更(23)
	数学演習第二	1後	1					3	4	2	1	0	兼 4	教育内容充実のため、専任准教授4名に対応(24) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任准教授4名に対応(うち1名は平成21年度に専任講師から専任准教授に昇任)(22)
	物理学概論第一	1前	2			10	6	2	6	6	9	3	兼 3	より教育内容に即した担当者に変更(25) 専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任(24) より教育内容に即した担当者への変更(22)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
	物理学概論第二	1後	2			7 6	5 6				兼 2	より教育内容に即した担当者に変更(23) より教育内容に即した担当者への変更(22)		
	化学概論	1前	2			2 4	4 5	4 3			兼 2	教育内容充実のため、専任教授4名、専任准教授4名で対応(25) 専任准教授2名が平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任(24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授5名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授5名、専任准教授3名で対応(22)		
学科専門基礎科目	プログラミング通論	2後	2				1 2	2 3	1	0	1	0	兼 1	より教育内容に即した担当者に変更(25) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授1名、専任助教1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	応用数学	2前	2			2	0 1	2 2						専任准教授1名が平成25年度に専任教授に昇任。また、より教育内容に即した担当者に変更(25) 教育内容充実のため、専任准教授2名で対応(23)
	基礎電磁気学	2後	2			1	2	1						教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授1名で対応(23) 専任准教授1名が平成25年度に専任教授に昇任。また、教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授2名で対応(25)
	複素関数論	2前	2			1 0	1	2						より教育内容に即した担当者に変更(24) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(23)
	離散数学	2前	2			1 0	1	2						教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授2名で対応(25) 専任教授が平成23年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授2名で対応(23)
	情報・通信演習1	2前	1			18 0	18 0	3 0	0	4 2		兼 1	教育内容充実のため、専任助教4名で対応(25) 情報・通信工学に必要な応用数学等の基礎的な科目を効果的に修得させるため演習形式で行うもので、授業内容の統一性を図るため少数の適任者が担当することとした。(23)	
	情報・通信演習2	2後	1			3 18	5 2	3 4	3 0	1 0				専任准教授1名が平成23年度に専任教授に昇任(24) 情報・通信工学に必要な基礎電磁気学等の基礎的な科目を効果的に修得させるため演習形式で行うもので、授業内容の統一性を図るため少数の適任者が担当することとした。(23)
	基礎電気回路	2後	2			1	2 2	3 3						専任准教授1名が平成23年度に専任教授に昇任(24) 教育内容充実のため、専任准教授3名で対応(23)
	プログラミング演習	2後	1				0 2	0 1	0 2	2 3				より教育内容に即した担当者に変更(25) より教育内容に即した担当者に変更(24)
	情報・通信工学基礎	2後	2			1 4	0 0	2 1						より教育内容に即した担当者に変更(25) 専任教授の負担軽減のため、専任准教授2名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	情報通信と符号化	2後		2		1	2							教育内容充実のため、専任教授2名で対応(23)
	力学	2前		2		1								
	波動と光	2前		2		1	1							教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(23)
	量子力学	2後		2		1	0	1						より教育内容に即した担当者への変更(23)
確率統計	2前		2		1	2							教育内容充実のため、専任教授2名で対応(23)	
基礎電子工学	2後		2		1 0	1 0					兼 2	専任准教授が、平成24年度に専任教授に昇任(25) 専任教授の負担軽減のため、専任准教授1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)		
数値計算	2後		2		1	1							教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(24)	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専 門 科 目	① 計算機通論	2前		2		1	1					教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応 (23)		
	情報通信システム実験第一	3前	3			4	4	11	1	6	兼 1	教育内容充実のため、専任教授4名、専任准教授11名、専任講師1名、専任助教6名で対応 (25)		
	情報通信システム実験第二A	3後	2			4	4	11	1	6	兼 1	教育内容充実のため、専任教授4名、専任准教授11名、専任講師1名、専任助教6名で対応 (25)		
	情報通信システム実験第二B	3後	1			4	4	11	1	6	兼 1	教育内容充実のため、専任教授4名、専任准教授11名、専任講師1名、専任助教6名で対応 (25)		
	輪講	4前	1			18	24	18	20	3	1	13	教育内容充実のため、専任教授24名、専任准教授20名、専任講師1名、専任助教13名で対応 (25)	
	卒業研究	4後	4			18	24	18	20	3	1	13	教育内容充実のため、専任教授24名、専任准教授20名、専任講師1名、専任助教13名で対応 (25)	
	電気数学	3前	2			1	2	0	1				専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任助教1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	回路システム学	3前	2			1	2	1					より教育内容に即した担当者に変更 (24)	
	回路システム学演習	3前	1			1	2	1					より教育内容に即した担当者に変更 (24)	
	解析電磁気学	3前	2			1	2	1					より教育内容に即した担当者に変更 (24)	
	解析電磁気学演習	3前	1			1	2	1					より教育内容に即した担当者に変更 (24)	
	論理回路学	3前	2				2	1					専任准教授の負担軽減のため、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	電子回路学	3後	2			1	0	1					専任教授の負担軽減のため、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	計測工学	3後	2			1	0	1	0			兼 1	専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)	
	信号処理論	3前	2			1	0	1					専任教授の負担軽減のため、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	通信システム学	3後	2			2	1	2	0				専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	情報理論	3前	2			2	1						専任教授の負担軽減のため、専任教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	符号理論	3後	2				1	1						
	集積回路学	4前	2			1								
	コンピュータネットワーク	3後	2			1	1	0					専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任 (25)	
	伝送回路論	3後	2			1	2	0					専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	アルゴリズムとデータ構造論	4前	2			10	0	7	1	1	0	5	0	授業内容の統一性を図るため、複数の教員が担当する当初計画を変更し、適任者1名が担当することとした。(25)
	電磁波工学	4前	2			1	1	0					より教育内容に即した担当者に変更 (25)	
	暗号理論	4前	2			1								
	線形システム理論	3後	2			1	0		1				より教育内容に即した担当者に変更 (24)	
	統計数学	3後	2									兼 1		
	光通信工学	4前 3後	2			1							バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更 (23)	
	電子工学工房	1~4通	2			4	1	7	6	1	0	1	2	専任教授、専任准教授、専任講師の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授6名、専任助教2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	宇宙通信工学	3~4通	2			1	2							
	通信法規	4後	2									兼 1		
	基礎数学演習第一	1前	1				1	2	1	0			専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任 (23)	
	基礎数学演習第二	1後	1				1	2	1	0			専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任 (23)	
	基礎物理学演習第一	1前	1				1	2	1	2			専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任 (23)	
基礎物理学演習第二	1後	1				1	2	1	2			教育内容充実のため、専任教授1名、専任講師2名で対応 (22)		
情報処理演習第一	2前	2						1				専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任 (23)		
情報処理演習第二	2後	2						1				教育内容充実のため、専任教授1名、専任講師2名で対応 (22)		



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
② 専門科目 電子情報システムコース	電子情報システム実験第一	3前	3			4	7	11	1	+	6	兼 1	教育内容充実のため、専任教授4名、専任准教授11名、専任講師1名、専任助教6名で対応(25)	
	電子情報システム実験第二A	3後	2			4	7	11	1	+	6	兼 1	教育内容充実のため、専任教授4名、専任准教授11名、専任講師1名、専任助教6名で対応(25)	
	電子情報システム実験第二B	3後	1			4	7	11	1	+	6	兼 1	教育内容充実のため、専任教授4名、専任准教授11名、専任講師1名、専任助教6名で対応(25)	
	輪講	4前	1			18	24	18	20	3	1	13		教育内容充実のため、専任教授24名、専任准教授20名、専任講師1名、専任助教13名で対応(25)
	卒業研究	4後	4			18	24	18	20	3	1	13		教育内容充実のため、専任教授24名、専任准教授20名、専任講師1名、専任助教13名で対応(25)
	電気数学	3前	2			1	2	0	1					専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任講師1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	回路システム学	3前	2			1	2	1						より教育内容に即した担当者に変更(24)
	回路システム学演習	3前	1			1	2	1						より教育内容に即した担当者に変更(24)
	電子回路学	3後	2			+	0	1						専任教授の負担軽減のため、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	論理回路学	3前	2				2	1						専任准教授の負担軽減のため、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	電子工学工房	1~4通	2			4	1	7	6	4	0	+	2	専任教授、専任准教授、専任講師の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授6名、専任助教2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	宇宙通信工学	3~4通	2			1	2							
	計測工学	3後	2			+	0	+	0				兼 1	専任教授の負担軽減のため、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	解析電磁気学	3前	2			1	2	1						より教育内容に即した担当者に変更(24)
	解析電磁気学演習	3前	1			1	2	1						より教育内容に即した担当者に変更(24)
	電磁波工学	4前	2			1	+	0						より教育内容に即した担当者に変更(25)
	伝送回路論	3後	2			1	2	0						専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	信号処理論	3前	2			+	0	1						専任教授の負担軽減のため、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	線形システム理論	3後	2			+	0		1					より教育内容に即した担当者に変更。(24)
	情報理論	3前	2				1							
	集積回路学	4前	2				1							
	電子機器システム学	3後	2			+	0	+	2					教育内容充実のため、専任准教授2名で対応(25)
	音響工学	4前	2			1								
	画像処理工学	4前	2						1					
	アルゴリズムとデータ構造論	4前	2			10	0	7	1	+	0	5	0	授業内容の統一性を図るため、複数の教員が担当する当初計画を変更し、適任者1名が担当することとした。(25)
	通信法規	4後	2											
	基礎数学演習第一	1前	1					+	2	+	0			専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
基礎数学演習第二	1後	1					+	2	+	0			専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)	
基礎物理学演習第一	1前	1					+	2	+	2			専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)	
基礎物理学演習第二	1後	1					+	2	+	2			教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)	
情報処理演習第一	2前	2							1				専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)	
情報処理演習第二	2後	2							1				教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)	
③ 情報	情報数理工学実験第一	3前	4			1	4	3	3	1	2	6	より教育内容に即した担当者に変更(25)	
						4	3	3	1	2	6		専任教授1名が平成23年度に定年退職。なお、学生の教育に支障はない。(24)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
教理工学コース	情報数理システム実験第二A 情報数理工学実験第二A	3後	2			4 4-3	3 3	4 4			2 2	0 0	より教育内容に即した担当者に変更(25) 専任教授1名が平成23年度に定年退職。なお、学生の教育に支障はない。(24) 実験内容に即した科目名称に変更(22)	
	情報数理システム実験第二B 情報数理工学実験第二B	3後	2			4 4-3	3 3	4 4			2 2	0 0	より教育内容に即した担当者に変更(25) 専任教授1名が平成23年度に定年退職。なお、学生の教育に支障はない。(24) 実験内容に即した科目名称に変更(22)	
	輪講	4前	1			18 18	24 24	18 18	20 20	3 3	1 1	13 13	教育内容充実のため、専任教授24名、専任准教授20名、専任講師1名、専任助教13名で対応(25)	
	卒業研究	4後	4			18 18	24 24	18 18	20 20	3 3	1 1	13 13	教育内容充実のため、専任教授24名、専任准教授20名、専任講師1名、専任助教13名で対応(25)	
	シミュレーション理工学第一	3後	2			1								
	アルゴリズム論第一	3前	2						1	4	0		専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(24)	
	数値解析	3前	2			1							教育内容充実のため、専任教授で対応(25)	
	論理設計学	3前	2			1	2	0					専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	オートマトン理論	3前	2			1								
	言語処理系論	3前	2			1								
	ヒューマンインタフェース	3前	2					1						
	プログラム言語論	3前	2			1								
	コンピュータグラフィックス	3前 4後	2			1	4	0					より教育内容に即した担当者に変更(25) バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(23)	
	ハイパフォーマンスコンピューティング第一	3後	2						1					
	数理解析	3後	2			1			1				教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(25)	
	コンピュータ設計論	3後	2			1	4	0					専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任(25)	
	アルゴリズム論第二	3後	2			1								
	コンピュータネットワーク	3後	2			1			1				教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(25)	
	データベース論	4前	2										兼 1	
	数理計画法	3後	2			1							兼 1	
	統計数学	3後	2											
	シミュレーション理工学第二	4前	2			2	0	3	1				専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)	
	ハイパフォーマンスコンピューティング第二	4後	2						1					
	知的情報処理	4後	2						1					
	計算理論	4後	2			4	0	2					教育内容充実のため、専任准教授2名で対応(25) 専任准教授1名が平成25年度に専任教授に昇任(25)	
	情報工学工房	1~4通	2			4	2	3	2			3	教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授3名、専任助教3名で対応(24)	
	基礎数学演習第一	1前	1						4	2	4	0	専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)	
基礎数学演習第二	1後	1						4	2	4	0	専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)		
基礎物理学演習第一	1前	1			1			4	2	4	2	専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)		
基礎物理学演習第二	1後	1			1			4	2	4	2	教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)		
情報処理演習第一	2前	2								1		専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)		
情報処理演習第二	2後	2								1		教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)		
④ 専門科目	コンピュータサイエンス実験第一	3前	4			6	1	4	5	4	0	3	6	専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名、専任助教6名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 専任講師1名が平成22年度に准教授に昇任(24)
	コンピュータサイエンス実験第二A	3後	2			6	7	4	4	5	4	0	3	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
ンス コー ス	コンピュータサイエンス実験第二B	3後	2			6	7	4	4	0	3	0	専任准教授及び専任助教の負担軽減のため、専任教授7名、専任准教授4名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 専任講師1名が平成22年度に准教授に昇任(24) 教育内容充実のため、専任教授24名、専任准教授20名、専任講師1名、専任助教13名で対応(25) 教育内容充実のため、専任教授24名、専任准教授20名、専任講師1名、専任助教13名で対応(25) 専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(24) 教育内容充実のため、専任教授で対応(25) 専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) より教育内容に即した担当者に変更(24) より教育内容に即した担当者に変更(25) バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(23) 専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任(25) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(25) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(25) 教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22) 教育内容充実のため、専任准教授2名で対応(25) 専任准教授1名が平成25年度に専任教授に昇任(25) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授3名、専任助教3名で対応(24) 専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22) 専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	輪講	4前	1			18	24	18	20	3	1	13	
	卒業研究	4後	4			18	24	18	20	3	1	13	
	アルゴリズム論第一	3前	2					1	4	0			
	論理設計学	3前	2			1	2	0					
	オペレーティングシステム論	3後	2			4	0	1					
	オートマトン理論	3前		2		1							
	プログラム言語論	3前		2		1							
	言語処理系論	3前		2		1							
	ヒューマンインタフェース	3前		2				1					
	シミュレーション理工学第一	3後		2		1							
	コンピュータグラフィックス	3前 4後		2		1	4	0					
	ソフトウェア工学	3後		2		1							
	コンピュータ設計論	3後		2		1	4	0					
	コンピュータネットワーク	3後		2		1	1						
	アルゴリズム論第二	3後		2		1							
	ハイパフォーマンスコンピューティング第一	3後		2				1					
	数理解析	3後		2		1	1						
	データベース論	4前		2							兼 1		
	数理計画法	4前-3後		2		1					兼 1		
	統計数学	3後		2									
	知的情報処理	4後		2		1							
	計算理論	4後		2		4	0	2					
	情報工学工房	1~4通		2		4	2	3	2		3		
	基礎数学演習第一	1前		1				4	2	4	0		
	基礎数学演習第二	1後		1				4	2	4	0		
基礎物理学演習第一	1前		1				4	2	4	2			
基礎物理学演習第二	1後		1				4	2	4	2			
情報処理演習第一	2前		2						1				
情報処理演習第二	2後		2						1				

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 73	科目 273	科目 0	科目 346	科目 75 [ 2]	科目 279 [ 6]	科目 0 [ 0]	科目 354 [ 8]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<情報理工学部 知能機械工学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合文化科目 人文・社会科学科目	哲学A	2・3前		2		1						
	哲学B	2・3後		2		1						
	倫理学A	2・3前		2			1					
	倫理学B	2・3後		2			1					
	心理学A	2・3前		2			1					
	心理学B	2・3後		2			1					
	歴史学A	2・3前		2							兼	1
	歴史学B	2・3後		2							兼	1
	科学史A	2・3前		2				1				
	科学史B	2・3後		2				1				
	文学A	2・3前		2		1						
	文学B	2・3後		2		1						
	美術A	2・3前		2							兼	1
	美術B	2・3後		2							兼	1
	音楽A	2・3前		2							兼	1
	音楽B	2・3後		2							兼	1
	経済学A	2・3前		2							兼	1
	経済学B	2・3後		2							兼	1
	社会学A	2・3前		2							兼	1
	社会学B	2・3後		2							兼	1
	法学A	2・3前		2							兼	1
	法学B	2・3後		2							兼	1
	政治学A	2・3前		2			1	4	0			専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任 (25)
	政治学B	2・3後		2			1	4	0			専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任 (25)
	地理学A	2・3前		2							兼	1
	地理学B	2・3後		2							兼	1
	社会思想史A	2・3前		2							兼	1
社会思想史B	2・3後		2							兼	1	
文化人類学A	2・3前		2							兼	1	
文化人類学B	2・3後		2							兼	1	
文章表現法	2・3前		2			1						
技術史	2・3前		2					1				
言語文化科目 言語文化基礎科目 I	Academic Written English I	1前	1			3 3	2 4	2 3	3 3			専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授2名、専任准教授3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授3名で対応 (24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当教員への変更 (22)
	Academic Spoken English I	1前	1			2 3	1 3	3 5	4 4			専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授1名、専任准教授4名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応 (24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	Academic Written English II	1後	1			3 3	2 4	2 4	3 3			専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授2名、専任准教授3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授3名で対応 (24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当教員への変更 (22)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	Academic Spoken English II	1後	1			2 3	1 4	3 5	4 -4			専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授1名、専任准教授4名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名に対応(24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)
言語文化応用科目 I	Academic English for the Second Year I	2前	1			3 1	2 1	1 0	0			専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授1名、専任准教授1名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授1名に対応(24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	Academic English for the Second Year II	2後	1			3 1	2 1	1 0	0			専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授1名、専任准教授1名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授1名に対応(24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
言語文化基礎科目 II	独語第一	1・2前		1		1 0	0 1	0	0			専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
	独語第二	1・2後		1		1 0	0 1	0	0			専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
	仏語第一	1・2前		1		1 0	0					専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	仏語第二	1・2後		1		1 0	0					専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	露語第一	1・2前		1				1				
	露語第二	1・2後		1				1				
	中国語第一	1・2前		1								
	中国語第二	1・2後		1								
	韓国朝鮮語第一	1・2前		1								
韓国朝鮮語第二	1・2後		1									
言語文化応用科目 II	選択独語第一	1~4前		1		1 0	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
	選択独語第二	1~4後		1		1 0	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
	選択仏語第一	1~4前		1								
	選択仏語第二	1~4後		1								
	選択露語第一	1~4前		1				1				
	選択露語第二	1~4後		1				1				
	選択中国語第一	1~4前		1			1					
	選択中国語第二	1~4後		1			1					
	選択韓国朝鮮語第一	1~4前		1								
選択韓国朝鮮語第二	1~4後		1									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
言語文化 演習科目	英語演習	2前		2		2 4-3	3 4-1				兼 1	専任教員1名が平成24年度に定年退職のため、専任教員2名、専任准教授3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教員3名、専任准教授3名で対応 (24) 専任教員及び専任准教授の負担軽減のため、専任教員3名、専任准教授1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	独語演習	2前		2		1 0	1 0				兼 1	教育内容充実のため、専任准教授で対応 (25) 専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 専任教員1名が平成21年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	独語運用演習	2後		2			1 0				兼 1	教育内容充実のため、専任准教授で対応 (25) 専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	仏語演習	2前		2							兼 1	
	仏語運用演習	2後		2							兼 1	
	露語演習	2前		2			1					
	露語運用演習	2後		2			1					
	中国語演習	2前		2		1					兼 2	
	中国語運用演習	2後		2		1					兼 2	
	韓国朝鮮語演習	2前		2							兼 1	
	韓国朝鮮語運用演習	2後		2							兼 1	
日本語演習	2後		2							兼 1		
国際文化演習	2前		2							兼 1		
言語表現演習	2前		2							兼 1		
日本語・ 日本文化 科目	日本語第一	1前	2			1 2	1 0				兼 1	専任准教授が平成23年度に専任教員に昇任 (23) 教育内容充実のため、専任教員1名、専任准教授1名で対応 (22)
	日本語第二	1後	2			1 2	1 0				兼 1	専任准教授が平成23年度に専任教員に昇任 (23) 教育内容充実のため、専任教員1名、専任准教授1名で対応 (22)
	日本語第三	2前	2			1					兼 2	教育内容充実のため、専任教員1名で対応 (23)
	日本文化A	1前		2							兼 1	
	日本文化B	1後		2							兼 1	
	日本文化C	2前		2							兼 1	
健康ス ポーツ 科学 科目	健康・体力づくり実習	1・2前	1			1	4-3				兼 8	専任准教授1名が平成24年度に専任教員に昇任。また、教育内容充実のため、専任教員1名、専任准教授3名で対応 (24) 専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	健康論	1・2後	1			3 1 2	3 5-4				兼 8	教育内容充実のため、専任教員3名、専任准教授3名で対応 (25) 専任教員が平成23年度に定年退職のため、専任准教授に変更。また、専任准教授2名が平成23年度及び平成24年度に専任教員に昇任 (24) 専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	生涯スポーツ演習A	2・3・4前		1		1 1 2	1 2 3 2				兼 9	より教育内容に即した担当者に変更。(25) 専任准教授1名が平成24年度に専任教員に昇任 (24) 専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	生涯スポーツ演習B	2・3・4後		1		1	1				兼 9	
	生涯スポーツ演習C	2・3・4集中		1							兼 2	
	生涯スポーツ演習D	2・3・4集中		1							兼 7	
理工系 教養 科	宇宙・地球科学	1・2後 1後2前 2・3後		2		1 0					兼 1	教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更。 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23) バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更 (22)



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
目	物理学概論第三	2・3前		2		1						<p>学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加 (23)</p> <p>学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加 (24)</p> <p>専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任 (24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。</p> <p>より教育内容に即した担当者に変更 (23)</p> <p>専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)</p> <p>専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任 (24)</p> <p>より教育内容に即した担当者に変更 (23)</p> <p>現代数学入門A及び現代数学入門Bの担当教員が、平成23年度と担当科目を交替して担当することによる変更 (24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更 (23)</p> <p>専任教授が平成24年度に転出のため、専任教授で対応。(25)</p> <p>現代数学入門A及び現代数学入門Bの担当教員が、平成23年度と担当科目を交替して担当することによる変更 (24)</p>	
	UECパスポートセミナー	1後		2		1	1						
	生物学	1・2・3後		2			1						
	化学とエネルギー	2・3後 前		2		1 1	0 0	1 0					
	材料化学	1・2後		2		2 2	1 1	1 0					
	現代数学入門A	1・2・3後 2・3・4前		2		1	0	1					
現代数学入門B	2・3・4前		2		1	0	1 0						
上級科目	A類	エートス論	3・4前	2			1					<p>専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任 (25)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更 (24)</p> <p>専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任 (25)</p> <p>学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加 (23)</p>	
	文化と現代社会	人間と外交	3・4後 前	2		1	1	0					
	現代の世界政治	3・4後	2		1	1	0						
	宗教と倫理	3・4後	2			1							
	現代の教育	3・4前	2		1								
	教育と憲法(日本国憲法)	3・4前	2		1								
	教育の歴史	3・4後	2		1								
	人間と教育	3・4後	2		1								
	B類	言語によるコミュニケーション	日本語による文章表現	3・4前 後 前	2		1	0					<p>教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更 (24)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授1名で対応 (24)</p> <p>教育内容充実のため、専任准教授で対応 (25)。</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更 (24)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授1名で対応 (24)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更するとともに、教育体系のバランスを考慮し開講学期を変更。また、専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない (24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない (24)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更 (24)</p> <p>専任教授が平成24年度に定年退職のため、専任准教授で対応。(25)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更 (24)</p>
	Reading Scientific Research	3・4前 (偶数年度開講)	2		1								
Research Writing	3・4後 (奇数年度開講)	2				1							
Research Presentation	3・4前 (偶数年度開講)	2		1									
Advanced Reading in Academic English	3・4後 (偶数年度開講)	2				1							
English for Interpersonal Communication	3・4前 後 (偶数年度開講)	2		1	0								
English for Intercultural Communication	3・4後 前 (奇数年度開講)	2				1	0						
Communication in Academic Environments	3・4前 (奇数年度開講)	2		1	0	1							



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	Exploring Issues in Science, Technology and Society	3・4後 (奇数年度開講)		2		1	0					兼 1 専任教授が平成24年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
	Preparation for Overseas Study	3・4前 (奇数年度開講)		2								兼 1 バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
	Preparation for Graduate School	3・4後 (偶数年度開講)		2		1						兼 1 バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授1名で対応(24)
	English for Examinations	3・4前 (偶数年度開講)		2				1				兼 1 バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授1名で対応(24)
	English for Workplaces	3・4後 (奇数年度開講)		2								兼 1 バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
	外国語とその運用A【独語】	3・4前		2								兼 1
	外国語とその運用A【仏語】	3・4前		2								兼 1
	外国語とその運用A【露語】	3・4前		2				1				兼 1
	外国語とその運用A【中国語】	3・4前		2		1						兼 1
	外国語とその運用A【韓国朝鮮語】	3・4前		2								兼 1
	外国語とその運用B【独語】	3・4後		2								兼 1
	外国語とその運用B【仏語】	3・4後		2								兼 1
	外国語とその運用B【露語】	3・4後		2				1				兼 1
	外国語とその運用B【中国語】	3・4後		2		1						兼 1
	外国語とその運用B【韓国朝鮮語】	3・4後		2								兼 1
C類	比較文化論	3・4後 前		2		1	0	1				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、より教育内容に即した担当者に変更(24)
異文化の理解	地域文化論	3・4後		2				1				
	文化干渉論	3・4前		2				1				
	認知言語学	3・4前 後		2				1				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24)
	文化と言語	3・4後		2		1	0	1				より教育内容に即した担当者に変更(24)
D類	日本語とコミュニケーションA	3・4前		2		1	2	1	0			専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	日本語とコミュニケーションB	3・4後		2				1				
日本学	日本の科学と技術A	3・4前		2				1		1		
	日本の科学と技術B	3・4後		2		1	0	1	2			専任教授が平成23年度に定年退職のため、専任准教授に変更(24)
	王朝物語の精神史	3・4前		2		1						
	江戸の社会と数学	3・4前		2				1				
	日本の内政と外交	3・4前		2		1		1	0			専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任(25)
	倫理思想論	3・4後		2				1				
E類	数学の哲学	3・4前		2		1						兼 3
	科学技術と人間	3・4前		2								
科学技術と人間	伝統科学と近代科学の相克	3・4後		2				1				
	科学的実在論の可能性	3・4前		2		1						学生の学習機会を増やすため、選択科目を追加(22)
	内包的文脈の諸相	3・4後		2		1						兼 3
	認識の諸相	3・4後		2								兼 3
	情報と職業	3・4前		2								兼 1
F類	御伽草子の想像力	3・4前		2		1						
芸術と人間	近代小説の人間学	3・4後		2		1						
G類	環境論	3・4前 後		2								兼 6 バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(22)
現代の科学	認知科学	3・4後		2				1				
	現代物理学を創った人々	3・4前 (偶数年度開講)		2		2	1	2	3			専任教授1名が平成24年度に転出のため、専任教授1名、専任准教授3名で対応。(25) バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授2名で対応(24)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
H類 健康とスポーツの科学	物理学の発展と最前線	3・4後 (奇数年度開講)		2		2	1	2	3			専任教員1名が平成24年度に転出のため、専任教員1名、専任准教授3名で対応。(25) バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教員2名、専任准教授2名で対応(24)
	サイエンス・コミュニケーション演習	3前		2		1						学生の学習機会を増やすため、選択科目を追加(24)
	応用幾何学	3・4前		2				1				教育内容充実のため、専任准教授1名で対応(24)
	応用代数学	3・4後		2				1				
	現代化学	3・4後		2		6	5	6	7		兼 2	専任教員1名が平成24年度に定年退職のため、専任教員5名、専任准教授7名で対応。(25) 教育内容充実のため、専任教員6名、専任准教授6名で対応(24)
	身体運動のバイオメカニクス	3・4前		2				1				
	運動と筋の科学	3・4後 前		2			1	1	0			教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、専任准教授が平成24年度に専任教員に昇任(24)
	健康の科学	3・4後		2		1	0	1				より教育内容に即した担当者に変更(25)
	エイジングの健康科学	3・4前		2		1						
	スポーツとコミュニケーション	3・4後		2				1				
体力の科学	3・4後		2				1					
日常生活の対人関係	3・4前		2			1	1	0			専任准教授が平成23年度に専任教員に昇任(24)	
現代社会と対人関係	3・4後		2			1	1	0			専任准教授が平成23年度に専任教員に昇任(24)	
国際科目	UEC Academic Skills I A (Computer Literacy)	1~4前		2				1	0		兼 1	専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills I B (Computer Literacy)	1~4後		2				1	0		兼 1	専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills II A (Cross-cultural Communication)	1~4前		2				1	0		兼 1	専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills II B (Cross-cultural Communication)	1~4後		2				1	0		兼 1	専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills III A (Research and Presentation)	1~4前 3~4前		2				1	0		兼 1	専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills III B (Research and Presentation)	1~4後 3~4後		2				1	0		兼 1	専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills IV A (Comprehensive Reading and Summary Writing)	4前 1~4前 3~4前		2				1	0		兼 1	教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills IV B (Comprehensive Reading and Summary Writing)	1~4後 3~4後		2				1	0		兼 1	専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills V A (Maths and Scientific Writing)	4前 1~4前 3~4前		2				1	0		兼 1	教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills V B (Maths and Scientific Writing)	1~4後 3~4後		2				1	0		兼 1	専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
Applicable Modelling with Mathematics 1	3・4前 4前		2				1			兼 1	教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(24)	
Applicable Modelling with Mathematics 2	3・4後 4後		2				1			兼 1	教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(24)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
実践教育科目	初年次導入科目													
	基礎科学実験A	1通	2			3 3 5	7 4 9 5 7			12 12	14 10	兼 7	教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授7名、専任助教14名で対応 (25) 専任准教授負担軽減のため、専任教授4名、専任准教授5名、専任助教14名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) より教育内容に即した担当者に変更 (23) 実験教育内容充実のため、専任教授7名、専任准教授7名、専任助教10で対応 (22)	
	基礎科学実験B	1通	2			1 2	3 3 2	4 2			3	兼 9	専任准教授2名が、平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任 (24) より教育内容に即した担当者に変更 (23) 実験教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名、専任助教3名で対応 (22)	
	コンピュータリテラシー	1前	2			2 3	3 4 1	4 5	1 1	2 2	4 3 5	兼 9	より教育内容に即した担当者に変更 (25) 教育内容充実のため、専任教授4名、専任准教授4名、専任講師1名、専任助教3名で対応 (24) より教育内容に即した担当者に変更 (23) 教育内容充実のため、より教育内容に即した担当者へ変更し、専任教授1名、専任准教授3名、専任講師2名、専任助教5名で対応 (22)	
	基礎プログラミングおよび演習	1後	2			1 4	2 8 7 9			2 5	1 1	兼 9	教育内容充実のため、専任教授4名、専任准教授7名、専任助教1名で対応 (25) 専任准教授、専任助教負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授8名、専任助教1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授9名、専任助教2名で対応 (23) 専任助教の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授9名、専任助教1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)	
倫理・キャリア教育科目	キャリア教育演習	1通 (隔週開講)	1									兼 1	就業力育成強化のための科目を新設 (23)	
	キャリア教育演習リーダー	3通 (隔週開講)	1									兼 1	就業力育成強化のための科目を新設 (23)	
	電気通信大学概論	1前 1通 (隔週開講) 1・2前	2			6	0					兼 1	教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更 (24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更 (23) 教育内容充実のため、学長及びOB等の兼任教員によるオムニバス形式の授業に変更 (22)	
	総合コミュニケーション科学	2後	2			4								
	キャリアデザイン1 キャリアデザインA	1・2後 2・3前	2			1						兼 3	教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更 (23)	
	キャリアデザイン2 キャリアデザインB	2・3前 2・3後	2			1						兼 3	教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更 (23)	
	エンジニアリングデザイン1	3前	2			1							PBL手法による教育内容を充実・強化するため、通年3単位を分割し、半期2単位2科目に変更 (25)	
	エンジニアリングデザイン2	3後	2			1							PBL手法による教育内容を充実・強化するため、通年3単位を分割し、半期2単位2科目に変更 (25)	
	エンジニアリングデザイン キャリアデザインC	3通	2	3		1	0						キャリア教育の後半段階 (3年次) において、PBL手法による教育内容を充実・強化し、単位数を増加するとともに、内容をより反映した科目名に変更 (23)	
	インターンシップ インターンシップ (海外)	3前 3前	2 2					4 4						
	ベンチャービジネス概論	3・4後 前	2			1	0					兼 2	専任教授が平成24年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更 (23)	
	知的財産権 技術者倫理	3・4前 後 3・4後	2 2										兼 1 兼 1	教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更 (23)
技術英語科目	Technical English - Basic English for Science	3前	2			7 7	8 3	2 3				兼 10	より教育内容に即した担当者に変更 (25) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授7名、専任准教授3名で対応。なお、学生の教育には支障はない。(24)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
	Technical English – Intermediate English for Science	3後	2			7	8	2	7	3			兼 11	より教育内容に即した担当者に変更(25) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授7名、専任准教授3名で対応。なお、学生の教育には支障はない。(24)	
専門科目	理数基礎科目														
	微分積分学第一	1前	2			4	3	2	1	3	1	0	兼 4	専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当者への変更及び専任講師1名が平成21年度に専任准教授に昇任(22)	
	微分積分学第二	1後	2			2	3	3	2	4	2	4	兼 2	専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応(24) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応(22)	
	線形代数学第一	1前	2			2	0	3	1	2	1	0	兼 5	専任教授が平成24年度に転出のため、専任教授2名で対応。(25) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授3名で対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教授1名に変更及び専任講師1名が平成21年度に専任准教授に昇任。なお、学生の教育に支障はない。(22)	
	線形代数学第二	1後	2			2	0	2	1	2			兼 4	専任教授が平成24年度に転出のため、専任教授2名で対応。(25) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授2名で対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)	
	解析学	1後	2			3	3	2	1	0	1	0	兼 2	教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名で対応(25) 専任教授1名が平成23年度に定年退職のため、専任教授2名、専任准教授2名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名で対応(23) 専任准教授、専任講師(平成21年度に専任准教授に昇任)の負担軽減のため、専任教授3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)	
	数学演習第一	1前	1			1	0	3	1	2			兼 4	教育内容充実のため、専任准教授3名で対応(24) より教育内容に即した担当者に変更(23)	
	数学演習第二	1後	1					3	4	2	4	1	0	兼 4	教育内容充実のため、専任准教授4名で対応(24) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任准教授4名で対応(うち1名は平成21年度に専任講師から専任准教授に昇任)(22)
	物理学概論第一	1前	2			10	6	2	6	6	3		兼 3	より教育内容に即した担当者に変更(25) 専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任(24) より教育内容に即した担当者への変更(22)	
	物理学概論第二	1後	2			7	6	5	6	8	4		兼 2	より教育内容に即した担当者に変更(23) より教育内容に即した担当者への変更(22)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	化学概論	1前	2			2 4	4 5	4 3			兼 2	教育内容充実のため、専任教授4名、専任准教授4名で対応(25) 専任准教授2名が平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任(24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授5名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授5名、専任准教授3名で対応(22)	
学科 専門 基礎 科目	力学および演習	2前	3			2 1				1		専任教授1名が平成25年度に定年退職のため、専任教授1名、専任助教1名で対応。(25)	
	材料力学および演習	2後	3			1	1					教育内容充実のため、専任教授2名で対応(23)	
	メカトロニクス	2前	2			1 2						より教育内容に即した担当者に変更(25)	
	メカノデザイン	2後	2			1 2	1			1 2		教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授1名、専任助教1名で対応(24) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名、専任助教1名で対応(23)	
	機械力学および演習	2後	3			1 2	1 0					専任准教授が平成22年度に教授に昇任(23)	
	知能機械工学基礎	2後	2			18 14 17	12 12 14			8 11 12 9		教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授12名、専任助教11名で対応(23) 専任教授1名が平成23年度に転入、専任助教1名が平成24年度に転出(24) 教育内容充実のため、専任教授17名、専任准教授14名、専任助教9名で対応(23)	
	応用数学	2前		2				1 0				兼 1	専任准教授が平成24年度に転出し、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)
	数値解析	2前		2				1 2					専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任准教授2名で対応(23)
	電磁気学および演習 リサイクル工学	2前 2後	3 2			1						兼 1	専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任(24) 教育内容充実のため、専任准教授1名で対応(23)
	確率統計	2前		2		1	1 0						専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)
	プログラミング演習	2後		2			2 1					兼 1	
	計算機工学 電気回路および演習 計測工学概論	2後 2前 2後	2 3 2			2 3 2		1 1					
	工学解析および演習	2後		3		2 1							専任教授の負担軽減のため、専任教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)
① 専門 科目	知能機械工学基礎実験I	3前	2			14 18	12 14			11 12 8		教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授12名、専任助教11名で対応(25) 教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授14名、専任助教8名で対応(24)	
	知能機械工学基礎実験II	3後	2			14 18	12 14			11 12 8		教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授12名、専任助教11名で対応(25) 教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授14名、専任助教8名で対応(24)	
	マシンデザインI マシンデザインII	3前 3後	2 2			1	1						
	輪講	4前	1			14 18	12			11		教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授12名、専任助教11名で対応(25)	
	卒業研究	4後	4			14 18	12			11		教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授12名、専任助教11名で対応(25)	
	ロボットの機構と力学 人間機械システム	3前 3前	2 2				1 1						
	知能ロボット工学 加工学および演習	3後 3前	2 3			1 1	1 1						
	基礎制御工学および演習	3前	3			1 2							教育内容充実のため、専任教授2名で対応(24)
	電子回路および演習 熱力学および演習	3前 3前	3 3			1 1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	流体力学および演習	3後		3		1						
	材料工学	3後		2			1					
	メカトロニクス応用	3後		2		1	1					
	設計基礎工学	3前		2		1						
	機構要素設計	3前		2			1					
	電気エネルギーシステム	3前		2			1					
	電気電子計測	3前		2		2						
	生産システム工学	3後		2			1					
	現代制御工学	3後		2		1						
	計測システム工学	3後		2		1						
	信号処理工学	4前		2		1	1					
	生体システム工学	4前		2		1	1	0				専任准教授が平成22年度に専任教授に昇任(25) より教育内容に即した担当者に変更(25)
	デジタル制御	4前		2		1	0	1				
	自動車工学	4前		2						兼	1	
	航空宇宙工学	4前		2						兼	2	
	生物学実験	3前			2	1	1					教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(24)
	地学第一	1前			2					兼	1	
	地学第二	1後			2					兼	1	
	地学実験	3前			2					兼	1	
	基礎数学演習第一	1前		1			1	2	1	0		専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎数学演習第二	1後		1			1	2	1	0		専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第一	1前		1			1	2	1	2		専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	基礎物理学演習第二	1後		1			1	2	1	2		専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	情報処理演習第一	2前		2					1			
	情報処理演習第二	2後		2					1			
② 専門科目	知能機械工学基礎実験I	3前	2			14	18	12	14	11	8	教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授12名、専任助教11名で対応(25) 教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授14名、専任助教8名で対応(24)
	知能機械工学基礎実験II	3後	2			14	18	12	14	11	8	教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授12名、専任助教11名で対応(25) 教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授14名、専任助教8名で対応(24)
	マシンデザインI	3前	2									
	マシンデザインII	3後	2			1	1					
	輪講	4前	1			14	18	12		11		教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授12名、専任助教11名で対応(25)
	卒業研究	4後	4			14	18	12		11		教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授12名、専任助教11名で対応(25)
	設計基礎工学	3前	2			1						
	機構要素設計	3前	2				1					
	生産システム工学	3後	2				1					
	加工学および演習	3前		3		1	1					
	基礎制御工学および演習	3前		3		1	2					教育内容充実のため、専任教授2名で対応(24)
	電子回路および演習	3前		3				2				
	流体力学および演習	3後		3		1						
	熱力学および演習	3前		3		1	1					
	材料工学	3後		2			1					
	メカトロニクス応用	3後		2		1	1					
	ロボットの機構と力学	3前		2			1					
	人間機械システム	3前		2			1					
	電気エネルギーシステム	3前		2			1					
	電気電子計測	3前		2		2						
	知能ロボット工学	3後		2		1						
	現代制御工学	3後		2		1						
	計測システム工学	3後		2		1						
	信号処理工学	4前		2		1	1					
	生体システム工学	4前		2		1	1	0				専任准教授が平成22年度に専任教授に昇任(25) より教育内容に即した担当者に変更(25)
	デジタル制御	4前		2		1	0	1				
	自動車工学	4前		2						兼	1	
	航空宇宙工学	4前		2						兼	2	
	生物学実験	3前			2	1	1					教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(24)



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
③	地学第一	1前			2						兼 1	専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22) 専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)	
	地学第二	1後			2						兼 1		
	地学実験	3前			2						兼 1		
	基礎数学演習第一	1前		1			1	2	1	0			
	基礎数学演習第二	1後		1			1	2	1	0			
	基礎物理学演習第一	1前		1			1	2	1	2			
	基礎物理学演習第二	1後		1			1	2	1	2			
	情報処理演習第一	2前		2						1			
	情報処理演習第二	2後		2						1			
	電子制御システムコース												兼 4
	知能機械工学基礎実験I	3前	2			14	18	12		11			兼 4
								12	14		8		
	知能機械工学基礎実験II	3後	2			14	18	12		11			兼 4
								12	14		8		
	マシンデザインI	3前	2										
	マシンデザインII	3後	2				1		1				
	輪講	4前	1				14	18	12		11		
	卒業研究	4後	4				14	18	12		11		
	基礎制御工学および演習	3前	3				1	2					
	現代制御工学	3後	2				1						
	計測システム工学	3後	2				1						
	加工学および演習	3前		3			1	1					
	熱力学および演習	3前		3			1	1					
	電子回路および演習	3前		3					2				
	流体力学および演習	3後		3			1						
	材料工学	3後		2					1				
	メカトロニクス応用	3後		2			1	1					
	ロボットの機構と力学	3前		2					1				
	人間機械システム	3前		2					1				
	設計基礎工学	3前		2			1						
機構要素設計	3前		2					1					
電気エネルギーシステム	3前		2					1					
電気電子計測	3前		2			2							
知能ロボット工学	3後		2			1							
生産システム工学	3後		2					1					
信号処理工学	4前		2			1	1						
生体システム工学	4前		2			1	1	0					
デジタル制御	4前		2			1	0	1					
自動車工学	4前		2								兼 1		
航空宇宙工学	4前		2								兼 2		
生物学実験	3前			2		1	1						
地学第一	1前			2							兼 1		
地学第二	1後			2							兼 1		
地学実験	3前			2							兼 1		
基礎数学演習第一	1前		1			1	2	1	0				
基礎数学演習第二	1後		1			1	2	1	0				
基礎物理学演習第一	1前		1			1	2	1	2				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	基礎物理学演習第二	1後		1			1	2		1	2	専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	情報処理演習第一	2前		2						1		
	情報処理演習第二	2後		2						1		

- (注)
- ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。



(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 60	科目 254	科目 12	科目 326	科目 62 [ 2]	科目 260 [ 6]	科目 12 [ 0]	科目 334 [ 8]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<情報理工学部 先進理工学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
総合文化科目 人文・社会科学科目	哲学A	2・3前		2		1								
	哲学B	2・3後		2		1								
	倫理学A	2・3前		2			1							
	倫理学B	2・3後		2			1							
	心理学A	2・3前		2			1							
	心理学B	2・3後		2			1							
	歴史学A	2・3前		2							兼	1		
	歴史学B	2・3後		2							兼	1		
	科学史A	2・3前		2				1						
	科学史B	2・3後		2				1						
	文学A	2・3前		2		1								
	文学B	2・3後		2		1								
	美術A	2・3前		2							兼	1		
	美術B	2・3後		2							兼	1		
	音楽A	2・3前		2							兼	1		
	音楽B	2・3後		2							兼	1		
	経済学A	2・3前		2							兼	1		
	経済学B	2・3後		2							兼	1		
	社会学A	2・3前		2							兼	1		
	社会学B	2・3後		2							兼	1		
	法学A	2・3前		2							兼	1		
	法学B	2・3後		2							兼	1		
	政治学A	2・3前		2			1	4	0			専任教員が平成25年度に専任教員に昇任 (25)		
	政治学B	2・3後		2			1	4	0			専任教員が平成25年度に専任教員に昇任 (25)		
	地理学A	2・3前		2							兼	1		
	地理学B	2・3後		2							兼	1		
	社会思想史A	2・3前		2							兼	1		
社会思想史B	2・3後		2							兼	1			
文化人類学A	2・3前		2							兼	1			
文化人類学B	2・3後		2							兼	1			
文章表現法	2・3前		2			1								
技術史	2・3前		2				1							
言語文化科目	言語文化基礎科目 I	Academic Written English I	1前	1			3	2	2	3		兼	6	専任教員1名が平成24年度に定年退職のため、専任教員2名、専任教員3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教員3名、専任教員3名で対応 (24) 専任教員及び専任教員の負担軽減のため、専任教員3名、専任教員2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当教員への変更 (22)
		Academic Spoken English I	1前	1			2	1	3	4		兼	6	専任教員1名が平成24年度に定年退職のため、専任教員1名、専任教員4名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教員2名、専任教員4名で対応 (24) 専任教員及び専任教員の負担軽減のため、専任教員2名、専任教員3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任教員の負担軽減のため、専任教員4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)
		Academic Written English II	1後	1			3	2	2	3		兼	6	専任教員1名が平成24年度に定年退職のため、専任教員2名、専任教員3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教員3名、専任教員3名で対応 (24) 専任教員及び専任教員の負担軽減のため、専任教員3名、専任教員2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当教員への変更 (22)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	Academic Spoken English II	1後	1			2 3	1 4	3 5	4 -4			専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授1名、専任准教授4名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名に対応(24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)
言語文化応用科目 I	Academic English for the Second Year I	2前	1			3 1	2 1	1 0	0			専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授1名、専任准教授1名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授1名に対応(24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	Academic English for the Second Year II	2後	1			3 1	2 1	1 0	0			専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授1名、専任准教授1名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授1名に対応(24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
言語文化基礎科目 II	独語第一	1・2前		1		1 0	0 1	0	0			専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
	独語第二	1・2後		1		1 0	0 1	0	0			専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
	仏語第一	1・2前		1		1 0	0					専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	仏語第二	1・2後		1		1 0	0					専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	露語第一	1・2前		1				1				
	露語第二	1・2後		1				1				
	中国語第一	1・2前		1								
	中国語第二	1・2後		1								
	韓国朝鮮語第一	1・2前		1								
韓国朝鮮語第二	1・2後		1									
言語文化応用科目 II	選択独語第一	1~4前		1		1 0	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
	選択独語第二	1~4後		1		1 0	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
	選択仏語第一	1~4前		1								
	選択仏語第二	1~4後		1								
	選択露語第一	1~4前		1				1				
	選択露語第二	1~4後		1				1				
	選択中国語第一	1~4前		1			1					
	選択中国語第二	1~4後		1			1					
	選択韓国朝鮮語第一	1~4前		1								
選択韓国朝鮮語第二	1~4後		1									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
言語文化演習科目	英語演習	2前		2		4	3				兼1	専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授2名、専任准教授3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授3名で対応(24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	独語演習	2前		2		1	0		1	0	兼1	教育内容充実のため、専任准教授で対応(25) 専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 専任教授1名が平成21年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	独語運用演習	2後		2			1	0			兼1	教育内容充実のため、専任准教授で対応(25) 専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	仏語演習	2前		2							兼1	
	仏語運用演習	2後		2							兼1	
	露語演習	2前		2				1				
	露語運用演習	2後		2				1				
	中国語演習	2前		2		1					兼2	
	中国語運用演習	2後		2		1					兼2	
	韓国朝鮮語演習	2前		2							兼1	
	韓国朝鮮語運用演習	2後		2							兼1	
日本語演習	2後		2							兼1		
国際文化演習	2前		2							兼1		
言語表現演習	2前		2							兼1		
日本語・日本文化科目	日本語第一	1前	2			1	2	1	0		兼1	専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22)
	日本語第二	1後	2			1	2	1	0		兼1	専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22)
	日本語第三	2前	2			1					兼2	教育内容充実のため、専任教授1名で対応(23)
	日本文化A	1前		2							兼1	
	日本文化B	1後		2							兼1	
	日本文化C	2前		2							兼1	
健康スポーツ科学科目	健康・体力づくり実習	1・2前	1			1	4	3			兼8	専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任。また、教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授3名で対応(24) 専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	健康論	1・2後	1			3	3	5	4		兼8	教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授3名で対応(25) 専任教授が平成23年度に定年退職のため、専任准教授に変更。また、専任准教授2名が平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任(24) 専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	生涯スポーツ演習A	2・3・4前	1			1	1	2	2		兼9	より教育内容に即した担当者に変更。(25) 専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任(24) 専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	生涯スポーツ演習B	2・3・4後	1			1	1				兼9	
	生涯スポーツ演習C	2・3・4集中	1								兼2	
	生涯スポーツ演習D	2・3・4集中	1								兼7	
理工系教養科	宇宙・地球科学	1・2後 1後2前 2・3後		2		1	0				兼1	教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更。 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23) バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(22)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
目	物理学概論第三	2・3前		2		1						<p>学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加 (23)</p> <p>学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加 (24)</p> <p>専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任 (24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。</p> <p>より教育内容に即した担当者に変更 (23)</p> <p>専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)</p> <p>専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任 (24)</p> <p>より教育内容に即した担当者に変更 (23)</p> <p>現代数学入門A及び現代数学入門Bの担当教員が、平成23年度と担当科目を交替して担当することによる変更 (24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更 (23)</p> <p>専任教授が平成24年度に転出のため、専任教授で対応。(25)</p> <p>現代数学入門A及び現代数学入門Bの担当教員が、平成23年度と担当科目を交替して担当することによる変更 (24)</p>	
	UECパスポートセミナー	1後		2		1	1						
	生物学	1・2・3後		2			1						
	化学とエネルギー	2・3後 前		2		1 1	0 0	1 0					
	材料化学	1・2後		2		2 2	1 1	1 0					
	現代数学入門A	1・2・3後 2・3・4前		2		1	0	1					
現代数学入門B	2・3・4前		2		1	0	1 0						
上級科目	A類	エートス論	3・4前	2			1					<p>専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任 (25)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更 (24)</p> <p>専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任 (25)</p> <p>学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加 (23)</p>	
	文化と現代社会	人間と外交	3・4後 前	2		1	1	0					
	現代の世界政治	3・4後	2		1	1	0						
	宗教と倫理	3・4後	2			1							
	現代の教育	3・4前	2		1								
	教育と憲法(日本国憲法)	3・4前	2		1								
	教育の歴史	3・4後	2		1								
	人間と教育	3・4後	2		1								
	B類	言語によるコミュニケーション	日本語による文章表現	3・4前 後 前	2		1	0					<p>教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更 (24)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授1名で対応 (24)</p> <p>教育内容充実のため、専任准教授で対応 (25)。</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更 (24)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授1名で対応 (24)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更するとともに、教育体系のバランスを考慮し開講学期を変更。また、専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない (24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない (24)</p> <p>専任教授が平成24年度に定年退職のため、専任准教授で対応。(25)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更 (24)</p>
	Reading Scientific Research	3・4前 (偶数年度開講)	2		1								
Research Writing	3・4後 (奇数年度開講)	2				1							
Research Presentation	3・4前 (偶数年度開講)	2		1									
Advanced Reading in Academic English	3・4後 (偶数年度開講)	2				1							
English for Interpersonal Communication	3・4前 後 (偶数年度開講)	2		1	0								
English for Intercultural Communication	3・4後 前 (奇数年度開講)	2				1	0						
Communication in Academic Environments	3・4前 (奇数年度開講)	2		1	0	1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	Exploring Issues in Science, Technology and Society	3・4後 (奇数年度開講)		2		1	0					兼 1 専任教授が平成24年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
	Preparation for Overseas Study	3・4前 (奇数年度開講)		2								兼 1 バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
	Preparation for Graduate School	3・4後 (偶数年度開講)		2		1						兼 1 バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授1名で対応(24)
	English for Examinations	3・4前 (偶数年度開講)		2				1				兼 1 バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授1名で対応(24)
	English for Workplaces	3・4後 (奇数年度開講)		2								兼 1 バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
	外国語とその運用A【独語】	3・4前		2								兼 1
	外国語とその運用A【仏語】	3・4前		2								兼 1
	外国語とその運用A【露語】	3・4前		2				1				兼 1
	外国語とその運用A【中国語】	3・4前		2		1						兼 1
	外国語とその運用A【韓国朝鮮語】	3・4前		2								兼 1
	外国語とその運用B【独語】	3・4後		2								兼 1
	外国語とその運用B【仏語】	3・4後		2								兼 1
	外国語とその運用B【露語】	3・4後		2				1				兼 1
	外国語とその運用B【中国語】	3・4後		2		1						兼 1
	外国語とその運用B【韓国朝鮮語】	3・4後		2								兼 1
C類	比較文化論	3・4後 前		2		1	0	1				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、より教育内容に即した担当者に変更(24)
異文化の理解	地域文化論	3・4後		2				1				
	文化干渉論	3・4前		2				1				
	認知言語学	3・4前 後		2				1				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24)
	文化と言語	3・4後		2		1	0	1				より教育内容に即した担当者に変更(24)
D類	日本語とコミュニケーションA	3・4前		2		1	2	1	0			専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	日本語とコミュニケーションB	3・4後		2				1				
日本学	日本の科学と技術A	3・4前		2				1		1		
	日本の科学と技術B	3・4後		2		1	0	1	2			専任教授が平成23年度に定年退職のため、専任准教授に変更(24)
	王朝物語の精神史	3・4前		2		1						
	江戸の社会と数学	3・4前		2				1				
	日本の内政と外交	3・4前		2		1		1	0			専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任(25)
	倫理思想論	3・4後		2				1				
E類	数学の哲学	3・4前		2		1						兼 3
	科学技術と人間	3・4前		2								
科学技術と人間	伝統科学と近代科学の相克	3・4後		2				1				
	科学的実在論の可能性	3・4前		2		1						学生の学習機会を増やすため、選択科目を追加(22)
	内包的文脈の諸相	3・4後		2		1						兼 3
	認識の諸相	3・4後		2								兼 1
	情報と職業	3・4前		2								
F類	御伽草子の想像力	3・4前		2		1						
芸術と人間	近代小説の人間学	3・4後		2		1						
G類	環境論	3・4前 後		2								兼 6 バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(22)
現代の科学	認知科学	3・4後		2				1				
	現代物理学を創った人々	3・4前 (偶数年度開講)		2		2	1	2	3			専任教授1名が平成24年度に転出のため、専任教授1名、専任准教授3名で対応。(25) バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授2名で対応(24)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	物理学の発展と最前線	3・4後 (奇数年度開講)		2		2	1	2	3			専任教員1名が平成24年度に転出のため、専任教員1名、専任准教授3名で対応。(25) バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教員2名、専任准教授2名で対応(24)
	サイエンス・コミュニケーション演習	3前		2		1						学生の学習機会を増やすため、選択科目を追加(24)
	応用幾何学	3・4前		2				1				教育内容充実のため、専任准教授1名で対応(24)
	応用代数学	3・4後		2				1				
	現代化学	3・4後		2		6	5	6	7		兼 2	専任教員1名が平成24年度に定年退職のため、専任教員5名、専任准教授7名で対応。(25) 教育内容充実のため、専任教員6名、専任准教授6名で対応(24)
H類	身体運動のバイオメカニクス	3・4前		2				1				
健康とスポーツの科学	運動と筋の科学	3・4後 前		2		1	1	0				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、専任准教授が平成24年度に専任教員に昇任(24)
	健康の科学	3・4後		2		1	0	1				より教育内容に即した担当者に変更(25)
	エイジングの健康科学	3・4前		2		1						
	スポーツとコミュニケーション	3・4後		2				1				
	体力の科学	3・4後		2				1				
	日常生活の対人関係	3・4前		2		1	1	0				専任准教授が平成23年度に専任教員に昇任(24)
	現代社会と対人関係	3・4後		2		1	1	0				専任准教授が平成23年度に専任教員に昇任(24)
国際科目	UEC Academic Skills I A (Computer Literacy)	1~4前		2				1	0		兼 1	専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills I B (Computer Literacy)	1~4後		2				1	0		兼 1	専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills II A (Cross-cultural Communication)	1~4前		2				1	0		兼 1	専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills II B (Cross-cultural Communication)	1~4後		2				1	0		兼 1	専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills III A (Research and Presentation)	1~4前 3~4前		2				1	0		兼 1	専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills III B (Research and Presentation)	1~4後 3~4後		2				1	0		兼 1	専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills IV A (Comprehensive Reading and Summary Writing)	4前 1~4前 3~4前		2				1	0		兼 1	教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(25) 専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills IV B (Comprehensive Reading and Summary Writing)	1~4後 3~4後		2				1	0		兼 1	専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills V A (Maths and Scientific Writing)	4前 1~4前 3~4前		2				1	0		兼 1	教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(25) 専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills V B (Maths and Scientific Writing)	1~4後 3~4後		2				1	0		兼 1	専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	Applicable Modelling with Mathematics 1	3・4前 4前		2				1			兼 1	教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(24)
	Applicable Modelling with Mathematics 2	3・4後 4後		2				1			兼 1	教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(24)



科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
実践 教育 科目	初年次 導入 科目													
	基礎科学実験A	1通	2			3 3 5	4 4 7	9 9 1	5 5 7	12 12	14 10	兼 7	教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授7名、専任助教14名で対応 (25) 専任准教授負担軽減のため、専任教授4名、専任准教授5名、専任助教14名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) より教育内容に即した担当者に変更 (23) 実験教育内容充実のため、専任教授7名、専任准教授7名、専任助教10で対応 (22)	
	基礎科学実験B	1通	2			1 2	3 3	4 2		3		兼 9	専任准教授2名が、平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任 (24) より教育内容に即した担当者に変更 (23) 実験教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名、専任助教3名で対応 (22)	
	コンピュータリテラシー	1前	2			2 3	4 1	5 3	4 3	1 1	2 5	4 3	兼 7	より教育内容に即した担当者に変更 (25) 教育内容充実のため、専任教授4名、専任准教授4名、専任講師1名、専任助教3名で対応 (24) より教育内容に即した担当者に変更 (23) 教育内容充実のため、より教育内容に即した担当者へ変更し、専任教授1名、専任准教授3名、専任講師2名、専任助教5名で対応 (22)
	基礎プログラミングおよび演習	1後	2			1 1	4 2	8 7	7 9	2 5	1 1	兼 7	教育内容充実のため、専任教授4名、専任准教授7名、専任助教1名で対応 (25) 専任准教授、専任助教負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授8名、専任助教1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授9名、専任助教2名で対応 (23) 専任助教の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授9名、専任助教1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)	
倫理・ キャリア 教育 科目	キャリア教育演習	1通 (隔週開講)	1									兼 1	就業力育成強化のための科目を新設 (23)	
	キャリア教育演習リーダー	3通 (隔週開講)	1									兼 1	就業力育成強化のための科目を新設 (23)	
	電気通信大学概論	1前 1通 (隔週開講) 1・2前	2			6	0					兼 1	教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更 (24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更 (23) 教育内容充実のため、学長及びOB等の兼任教員によるオムニバス形式の授業に変更 (22)	
	総合コミュニケーション科学	2後	2			4								
	キャリアデザイン1 キャリアデザインA	1・2後 2・3前	2			1						兼 3	教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更 (23)	
	キャリアデザイン2 キャリアデザインB	2・3前 2・3後	2			1						兼 3	教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更 (23)	
	エンジニアリングデザイン1	3前	2			1							PBL手法による教育内容を充実・強化するため、通年3単位を分割し、半期2単位2科目に変更 (25)	
	エンジニアリングデザイン2	3後	2			1							PBL手法による教育内容を充実・強化するため、通年3単位を分割し、半期2単位2科目に変更 (25)	
	エンジニアリングデザイン キャリアデザインC	3通	2	3		1	0						キャリア教育の後半段階 (3年次) において、PBL手法による教育内容を充実・強化し、単位数を増加するとともに、内容をより反映した科目名に変更 (23)	
	インターンシップ インターンシップ (海外)	3前 3前	2 2					4 4						
	ベンチャービジネス概論	3・4後 前	2			1	0					兼 2	専任教授が平成24年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更 (23)	
知的財産権 技術者倫理	3・4前 後 3・4後	2 2										兼 1 兼 1	教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更 (23)	
技術 英語 科	Technical English – Basic English for Science	3前	2			7 7	8 3	2 3				兼 10	より教育内容に即した担当者に変更 (25) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授7名、専任准教授3名で対応。なお、学生の教育には支障はない。(24)	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
	Technical English – Intermediate English for Science	3後	2			7	8	2	7	3			兼 11	より教育内容に即した担当者に変更(25) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授7名、専任准教授3名で対応。なお、学生の教育には支障はない。(24)	
専門科目	理数基礎科目	微分積分学第一	1前	2		4	3	2	1	3	1	0		兼 4	専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当者への変更及び専任講師1名が平成21年度に専任准教授に昇任(22)
		微分積分学第二	1後	2		2	3	2	3	4	2	4		兼 2	専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応(24) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応(22)
	線形代数学第一	1前	2		2	0	2	3	1	2	1	0		兼 5	専任教授が平成24年度に転出のため、専任准教授2名で対応。(25) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授3名で対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教授1名に変更及び専任講師1名が平成21年度に専任准教授に昇任。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	線形代数学第二	1後	2		2	0	2	1	1	2			兼 4	専任教授が平成24年度に転出のため、専任准教授2名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授2名で対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)	
	解析学	1後	2		3	3	2	2	1	0	1	0		兼 2	教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名で対応(25) 専任教授1名が平成23年度に定年退職のため、専任教授2名、専任准教授2名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名で対応(23) 専任准教授、専任講師(平成21年度に専任准教授に昇任)の負担軽減のため、専任教授3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	数学演習第一	1前	1		1	1	0	3	1	2			兼 4	教育内容充実のため、専任准教授3名で対応(24) より教育内容に即した担当者に変更(23)	
	数学演習第二	1後	1		1			3	4	2	4	1	0	兼 4	教育内容充実のため、専任准教授4名で対応(24) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任准教授4名で対応(うち1名は平成21年度に専任講師から専任准教授に昇任)(22)
	物理学概論第一	1前	2		10	6	2	6	6	9	6	3		兼 3	より教育内容に即した担当者に変更(25) 専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任(24) より教育内容に即した担当者への変更(22)
	物理学概論第二	1後	2		7	6	5	6	8	6	4		兼 2	より教育内容に即した担当者に変更(23) より教育内容に即した担当者への変更(22)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	化学概論	1前	2			2 4	4 5	4 3			兼 2	教育内容充実のため、専任教授4名、専任准教授4名で対応(25) 専任准教授2名が平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任(24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授5名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授5名、専任准教授3名で対応(22)
学科専門基礎科目	力学	2前	2			2 1	1				兼 1	専任教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)
	波動と光	2後	2			2 3	1 0					より教育内容に即した担当教員への変更(25) より教育内容に即した担当教員への変更(23)
	基礎電気・電子回路第一	2前	2			1	2					通年の教育内容を半期分を単元として実施し成績評価する方が、学習の効率化に適切であるため、通年から半期2科目とし、科目名及び単位数を変更(23)
	基礎電気・電子回路第二	2後	2			2 1	1 2					専任教授1名が平成23年度に定年退職のため、専任准教授に変更(24) 通年の教育内容を半期分を単元として実施し成績評価する方が、学習の効率化に適切であるため、通年から半期2科目とし、科目名及び単位数を変更(23)
	基礎電気・電子回路	2通	4.0			3	3					専任助教1名が平成25年度に専任准教授に昇任(25) 専任助教の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授2名、専任助教4名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授2名、専任助教5名で対応(23)
	電気・電子回路実験	2後	2			2 1	3 2	1 0	3 4			通年の教育内容を半期分を単元として実施し成績評価する方が、学習の効率化に適切であるため、通年から半期2科目とし、科目名及び単位数を変更。また、教育内容に即した担当教員への変更(23)
	電磁気学第一	2前	2			2	1					専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24) 通年の教育内容を半期分を単元として実施し成績評価する方が、学習の効率化に適切であるため、通年から半期2科目とし、科目名及び単位数を変更。また、教育内容に即した担当教員への変更(23)
	電磁気学第二	2後	2			2 3	1 0					通年の教育内容を半期分を単元として実施し成績評価する方が、学習の効率化に適切であるため、通年から半期2科目とし、科目名及び単位数を変更。また、教育内容に即した担当教員への変更(23)
	電磁気学	2通	4.0			3	3					専任准教授1名が平成23年度に専任教授に昇任(24) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名、専任講師1名で対応(24)
	工学基礎数学	2前	2			1	2					専任准教授及び専任助教の負担軽減のため、専任教授21名、専任准教授14名、専任講師1名、専任助教12名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)
	化学熱力学	2前	2			1 2	2 1					専任准教授1名が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	分子生物学	2後	2			1	1	1				専任教授、専任准教授及び専任講師の負担軽減のため、専任教授20名、専任准教授15名、専任講師1名、専任助教16名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	先進理工学基礎	2後	2			21 21	14 20	14 15	2 1	14 12 15 16		専任准教授及び専任助教の負担軽減のため、専任教授20名、専任准教授14名、専任講師1名、専任助教14名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 専任教授、専任准教授及び専任講師の負担軽減のため、専任教授20名、専任准教授15名、専任講師1名、専任助教16名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
① 専門科目	電子工学実験第一	3前	3			4 0	3 2		3 4			専任助教1名が平成25年度に専任准教授に昇任(25) 専任教授、専任准教授及び専任助教の負担軽減のため、専任准教授2名、専任助教4名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	電子工学実験第二	3後	3			1 4	2 0	5 3		6 2		専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任(25) 専任教授、専任准教授及び専任助教の負担軽減のため、専任准教授3名、専任助教2名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	輪講	4前	1			21	16	14	2 1	15 12		専任教授、専任准教授、専任講師及び専任助教の負担軽減のため、専任教授21名、専任准教授14名、専任講師1名、専任助教12名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
	卒業研究	4後	4			21	16	14	2	1	15	12		専任准教授、専任講師及び専任助教の負担軽減のため、専任教授21名、専任准教授14名、専任講師1名、専任助教12名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)
	応用数学	3前	2			1	0	2	3				兼 1	専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任(25) より教育内容に即した担当者に変更(24)
	固体電子論	3前	2			1	2	1	0					専任准教授が平成24年度に専任教授に昇任(24)
	電気回路	3前	2					1						
	電気回路演習	3前	1					1			1			教育内容充実のため、専任准教授1名、専任助教1名に対応(24)
	論理回路学	3後-前	2					1						教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)
	半導体工学	3後	2			1	0	1						専任教授の負担軽減のため、専任准教授1名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	電子回路学	3後	2			1		1						
	電子デバイス	3後	2			1								
	熱・統計物理学第一	3前		2		1	2	1	0					専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	計算数理工学	3前-後		2		1		1	0					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。専任准教授が平成24年度に専任教授に昇任(24)
	光電子材料学	3前 後		2		1	2	1	0					より教育内容に即した担当者に変更(24)
	計測物理実験学	3前		2				1						教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
	信号処理論	3後 4前		2		1		1	0					より教育内容に即した担当者に変更(25)
	回折結晶学	3後		2		1		1	0					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)
	基礎量子工学	3前		2		1								より教育内容に即した担当者に変更(24)
	線形システム理論	3後		2		1	0			1				より教育内容に即した担当者に変更(24)
	量子力学第一	3後		2				1						
	量子力学第一演習	3後		1							2			
	画像工学	3後		2				1						
	量子エレクトロニクス	4前 3後		2		1	2	1	0					専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	環境工学	4前		2				1						教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)
	電磁波工学	4前		2		1		1	0					より教育内容に即した担当者に変更(25)
	通信システム学	3後		2		1								学生の学習機会を増やすため選択科目を追加(24)
	生物学実験	3前			2	1		1						教育内容の充実のため、専任教授1名、専任准教授1名に対応(24)
	地学第一	1前			2								兼 1	
	地学第二	1後			2								兼 1	
	地学実験	3前			2								兼 1	
	UECパスポートプログラムⅠ	2通			2	1								学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(24)
	UECパスポートプログラムⅡ	3通			2	1								学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(24)
	UECパスポートプログラムⅢ	3・4前			2	1								学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(25)
	基礎数学演習第一	1前	1				1	2	1	0				専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎数学演習第二	1後	1				1	2	1	0				専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第一	1前	1				1	2		1	2			専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第二	1後	1				1	2		1	2			教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名に対応(22)
	情報処理演習第一	2前	2							1				専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	情報処理演習第二	2後	2							1				教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名に対応(22)
②	光エレクトロニクス実験第一	3前	3			5	0	3	2	1	0	3	2	専任准教授の負担軽減のため、専任准教授2名、専任助教2名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)
														専任教授、専任准教授及び専任講師の負担軽減のため、専任准教授2名、専任助教3名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
ロニクスコース	光エレクトロニクス実験第二	3後	3			5	1	3	0	0	兼 1	専任助教の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 専任教授、専任准教授、専任講師及び専任助教の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授2名、専任助教2名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	輪講	4前	1			21	16	14	2	1	15	12	専任准教授、専任講師及び専任助教の負担軽減のため、専任教授21名、専任准教授14名、専任講師1名、専任助教12名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)
	卒業研究	4後	4			21	16	14	2	1	15	12	専任准教授、専任講師及び専任助教の負担軽減のため、専任教授21名、専任准教授14名、専任講師1名、専任助教12名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)
	応用数学	3前	2			1	0	2	2	3	兼 1	専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任(25) より教育内容に即した担当者に変更(24)	
	光電子材料学	3前-後	2			1	2	1	0			より教育内容に即した担当者に変更(24) 教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)	
	基礎量子工学	3前	2			1							
	固体電子論	3前	2			1	2	1	0				専任准教授が平成24年度に専任教授に変更(24)
	光波工学	3後	2			1							
	量子エレクトロニクス	3後	2			1	2	1	0				専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	画像工学	3後	2							1			
	光通信工学	4前-3後	2			1							バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(23) より教育内容に即した担当者に変更(25)
	電磁波工学	4前-3前	2			1	1	0					バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(23) 教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24)
	計算数理工学	3前-後	2			1	1	0					専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	熱・統計物理学第一	3前	2			1	2	1	0				
	生体計測工学	3前	2							1			
	物理化学	3前	2							1			
	電子回路学	3後	2			1				1			
	計測物理実験学	3前	2							1			
	通信システム学	3後	2			1	1	0					より教育内容に即した担当者に変更(24)
	半導体工学	3後	2			1	0			1			専任教授の負担軽減のため、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。 専任准教授1名が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	熱・統計物理学第二	3後	2			1	1	0					
	信号処理論	4前	2			1	1	0					より教育内容に即した担当者に変更(25)
	高分子機能科学	4前	2			1	1	0					専任准教授が平成24年度に専任教授に昇任(25)
	生物学実験	3前			2	1				1			教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(24)
	地学第一	1前			2							兼 1	
	地学第二	1後			2							兼 1	
	地学実験	3前			2							兼 1	
	UEC/パスポートプログラムⅠ	2通			2	1							学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(24)
	UEC/パスポートプログラムⅡ	3通			2	1							学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(24)
	UEC/パスポートプログラムⅢ	3・4前			2	1							学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(25)
	基礎数学演習第一	1前	1					1	2	1	0		専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎数学演習第二	1後	1					1	2	1	0		専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
基礎物理学演習第一	1前	1					1	2	1	2		専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)	
基礎物理学演習第二	1後	1					1	2	1	2		専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)	
情報処理演習第一	2前	2							1				
情報処理演習第二	2後	2							1				
③ 応用	応用物理工学実験第一	3前	3			4	0	2	0		2	兼 1	専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任助教2名及び兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
用 物 理 工 学 コ ー ス	応用物理学実験第二	3後	3			4	0	2	1	1	2	3	兼 2	専任教員の負担軽減のため、専任教員1名、専任講師1名、専任助教3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)	
	輪講	4前	1			21	16	14	2	1	15	12		専任教員の負担軽減のため、専任教員21名、専任講師1名、専任助教3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	卒業研究	4後	4			21	16	14	2	1	15	12		専任教員、専任講師及び専任助教の負担軽減のため、専任教員21名、専任講師14名、専任講師1名、専任助教12名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)	
	応用数学	3前	2			1	0	2	3				兼 1	専任教員1名が平成24年度に専任教員に昇任(25) より教育内容に即した担当者に変更(24)	
	解析力学	3前	2			1	0	1						専任教授が平成24年度に転出のため、専任教授で対応。(25)	
	熱・統計物理学第一	3前	2			1	2	1	0					専任教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)	
	熱・統計物理学第二	3後	2			1	1	0						専任教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)	
	固体物理学第一	3前	2			1	0	1						より教育内容に即した担当者に変更(24)	
	固体物理学第二	3後	2			1	0	1						専任教授が平成24年度に転出のため、専任教授で対応。(25)	
	量子力学第一	3後	2					1							
	量子力学第一演習	3後	1								2				
	コンピュータ演習	3前		2					1			1			教育内容充実のため、専任教授1名、専任助教1名で対応(24)
	計測物理実験学	3前		2					1						
	計算数理工学	3前 後		2			1	1	0						教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)
	固体電子論	3前		2			1	2	1	0					専任教授が平成24年度に専任教授に昇任(24)
	光波工学	3前 後		2			1								教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)
	半導体工学	3後		2			1	0	1						専任教授の負担軽減のため、専任教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	光電子材料学	3後 前 後		2			1	2	1	0					より教育内容に即した担当者に変更(24)
	回折結晶学	3後		2			1	1	0						教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
	電子デバイス	3後		2			1								教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)
	量子力学第二	4前		2			1								より教育内容に即した担当者に変更(24)
	量子エレクトロニクス	4前 3後		2			1	2	1	0					専任教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	電子回路学	3後		2			1		1						教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)
	生体システム工学	4前		2			1	1	0						専任教授が平成22年度に専任教授に昇任(25)
	高分子機能科学	4前		2			1	1	0						専任教授が平成24年度に専任教授に昇任(25)
	生物学実験	3前			2		1		1						教育内容充実のため、専任教授1名、専任助教1名で対応(24)
	地学第一	1前			2									兼 1	
	地学第二	1後			2									兼 1	
	地学実験	3前			2									兼 1	
	UECパスポートプログラムⅠ	2通			2		1								学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(24)
	UECパスポートプログラムⅡ	3通			2		1								学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(24)
	UECパスポートプログラムⅢ	3・4前			2		1								学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(25)
	基礎数学演習第一	1前		1			1	2	1	0					専任講師が平成22年度に専任教授に昇任(23)
基礎数学演習第二	1後		1			1	2	1	0					専任講師が平成22年度に専任教授に昇任(23)	
基礎物理学演習第一	1前		1			1	2	1	2					専任講師1名が平成22年度に専任教授に昇任(23)	
基礎物理学演習第二	1後		1			1	2	1	2					教育内容充実のため、専任教授1名、専任講師2名で対応(22)	
情報処理演習第一	2前		2					1						専任講師1名が平成22年度に専任教授に昇任(23)	
情報処理演習第二	2後		2					1						教育内容充実のため、専任教授1名、専任講師2名で対応(22)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
④ 生体機能システム コース	生体機能システム演習第一	3前	1			2	1			1		専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。(25) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任助教1名で対応(24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名、専任講師1名で対応。学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授1名、専任講師1名で対応(24) 専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授1名、専任講師1名、専任助教2名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24) 専任教授1名が平成24年度に定年退職のため、専任教授4名、専任准教授4名で対応。(25) より教育内容に即した担当者に変更(24) 専任准教授、専任講師及び専任助教の負担軽減のため、専任教授21名、専任准教授14名、専任講師1名、専任助教12名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 専任准教授、専任講師及び専任助教の負担軽減のため、専任教授21名、専任准教授14名、専任講師1名、専任助教12名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任講師1名で対応(25) 専任准教授が平成22年度に専任教授に昇任(25) 専任准教授が平成24年度に専任教授に昇任(25) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(24) 学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(24) 学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(24) 学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(25) 専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22) 専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)		
	生体機能システム演習第二	3後	1			2	1	1						
	生体機能システム実験第一	3前	3			1 4	2	4	0	1	2		兼 1	
	生体機能システム実験第二	3後	3			4 3	5	3	4		2		0	兼 1
	輪講	4前	1			21	16	14	2	1	15		12	
	卒業研究	4後	4			21	16	14	2	1	15		12	
	無機化学	3前	2			1								
	物理化学	3前	2					1						
	有機化学	3前	2			1								
	生体機能分子工学	3前	2							1				
	生体計測工学	3前	2							1				
	細胞生物学	3前	2							1				
	分子分光学	3後	2			1								
	神経科学	3後	2			1								
	有機物質工学	3後	2			1	1	0						専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	量子化学	3後	2			1								
	画像工学	3後	2						1					
	環境工学	4前	2			1								
	システム生物学	4前	2			1				1				教育内容充実のため、専任教授1名、専任講師1名で対応(25) 専任准教授が平成22年度に専任教授に昇任(25)
	生体システム工学	4前	2			1	1	0						専任准教授が平成24年度に専任教授に昇任(25)
	高分子機能科学	4前	2			1	1	0						教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(24)
	生物学実験	3前			2	1		1						
	地学第一	1前			2									兼 1
	地学第二	1後			2									兼 1
	地学実験	3前			2									兼 1
	UEC/パスポートプログラムⅠ	2通			2	1								学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(24)
UEC/パスポートプログラムⅡ	3通			2	1							学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(24)		
UEC/パスポートプログラムⅢ	3・4前			2	1							学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(25)		
基礎数学演習第一	1前	1				1	2	1	0			専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)		
基礎数学演習第二	1後	1				1	2	1	0			専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)		
基礎物理学演習第一	1前	1				1	2	1	2			専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)		
基礎物理学演習第二	1後	1				1	2	1	2			専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)		
情報処理演習第一	2前	2							1					
情報処理演習第二	2後	2							1					

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。



(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
87	239	16	342	91	246	28	365	
				[ 4]	[ 7]	[ 12]	[ 23]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注)・設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<情報理工学部 先端工学基礎課程（夜間主）>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文社会科学科目	哲学	1・2・3・4前-後		2		1						改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)
	倫理学	1・2・3・4後		2		1	0	1				より教育内容に即した担当教員への変更(23)
	心理学	1・2・3・4前-後		2				1				改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)
	歴史学	1・2・3・4後-前		2							兼 1	改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)
	科学史	1・2・3・4前-後		2				1				改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)
	文学	1・2・3・4後		2		1						
	美術	1・2・3・4前		2							兼 1	
	音楽	1・2・3・4後-前		2							兼 1	改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)
	社会学	1・2・3・4前		2							兼 1	
	経済学	1・2・3・4後-前		2							兼 1	改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)
	法学	1・2・3・4前		2							兼 1	
	政治学	1・2・3・4後		2			1	1	0			専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任(25)
	地理学	1・2・3・4前		2							兼 1	
	社会思想史	1・2・3・4後-前		2							兼 1	改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)
文化人類学	1・2・3・4前-後		2							兼 1	改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)	
上級科目	科学という文化	2・3後		2							兼 1	
	科学技術と人間	3・4前		2							兼 1	
	自然科学的世界像	3・4-2・3後		2							兼 1	バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(23)
	国際文化論	2・3後		2							兼 1	
	国際技術協力論	2・3・4前-後		2							兼 1	教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(25) 教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24)
総合文化科目 言語文化科目	Academic Written English I	1前	1			1	0				兼 2	専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	Academic Written English II	1後	1					1	0		兼 2	専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	Academic Spoken English I	1前	1			1	0	1			兼 2	教育内容充実のため、専任准教授1名で対応(25) 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	Academic Spoken English II	1後	1					1	0		兼 2	教育内容充実のため、専任准教授1名で対応(25) 専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	Academic English for the 2nd Year I	2前	1			1	0				兼 2	専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	Academic English for the 2nd Year II	2後	1					1	0		兼 2	専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	Academic Writing in English	3前	1			1	0				兼 3	専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	Academic Presentation in English	3後	1					1	0		兼 3	専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
健康科学科目	健康実践論	1前	2			1	3 2	2 4			兼 1	教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授3名で対応(25) 専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任(24) 専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授4名で対応(22)	
	宇宙・地球科学	2・3後		2		1						教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(24) バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更。より教育内容に即した担当教員へ変更(23) より教育内容に即した担当教員へ変更(23)	
	現代物理学概論	3・4前		2		1	1						
	環境科学	3・4-2・3後		2		1	0	1					
	応用幾何学	2・3後		2		1	0	1					
理工系教養科目	応用代数学	2・3後		2			1						
実践教育科目	アカデミックリテラシー	1前	2			1	2	0		2	0	兼 3	専任准教授、専任助教の負担軽減のため、専任教授1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	コンピュータリテラシー	1前	2			1	0	1		1		兼 5	専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任助教1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名、専任助教1名で対応(22)
	基礎プログラミングおよび演習	1後	2			1	2	0	1			兼 3	教育内容充実のため、専任教授2名で対応(25) 専任教授の負担軽減のため、専任准教授1名、兼任教員1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) より教育内容に即した担当教員への変更(22)
	基礎科学実験	1後	2			1	0	1	0		1	兼 5	より教育内容に即した担当者に変更(24) 実験教育内容充実のため、専任教授1名、専任助教1名で対応(22)
	総合コミュニケーション科学	2後	2			2	12	0	1	2			兼 3
産学連携教育科目	技術課程演習Ⅰ	3前	2			2	1			2	0	兼 3	専任教授及び専任助教の負担軽減のため、専任教授1名及び兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	技術課程演習Ⅱ	3後	2			2	1	0		2	0	兼 3	教育内容充実のため、専任教授1名で対応(25) 専任教授及び専任助教の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	インターンシップⅠ	2前-後	2			1						兼 3	教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
	インターンシップⅡ	3前	2			1						兼 1	
技術者教養科目	技術者倫理と知的財産	4前	2									兼 1	
	マーケティング科学	4前	2									兼 1	
専門科目	基礎微積分学第一	1前	2			1	0					兼 1	専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	基礎微積分学第二	1後	2									兼 1	
	ベクトルと行列第一	1前	2			1	0	1	2	1	2		専任教授が平成24年度に転出のため、専任准教授2名で対応。(25) より教育内容に即した担当者に変更(24) 教育内容充実のため、専任准教授2名で対応(22)
	ベクトルと行列第二	1後	2			0	2	2	0	1	0		より教育内容に即した担当者に変更(24) より教育内容に即した担当教員への変更(23)
	基礎解析学	2前	2	2		2							教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22)
	基礎物理学第一	1前	2			1							教育内容充実のため、専任教授2名で対応(23)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
	基礎物理学第二	1後	2			1	4	0				兼 1	専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)	
	基礎物理学第三	2前		2								兼 1	専任准教授1名が平成23年度に専任教授に昇任(23)	
	化学結合と構造	1前		2		1	2	1					教育内容充実のため、専任准教授2名で対応(22)	
① 情報・メディア・通信プログラムコース 専門科目	応用数学A	2前	2			4	2						教育内容充実のため、専任教授2名で対応(23)	
	応用数学B	2後	2			1	4	0	1				教育内容充実のため、専任教授1名、専任講師1名で対応(23)	
	確率統計	2後	2			1							教育内容充実のため、専任教授1名で対応(23)	
	プログラミング通論および演習	2前	2			4	0	1					より教育内容に即した担当教員への変更(23)	
	論理回路学	2前	2			2							教育内容充実のため、専任教授2名で対応(23)	
	電磁気学および演習	2前	3			4	3	2	1	4	0		教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授1名で対応(25) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) より教育内容に即した担当教員への変更(23)	
	電気回路学および演習	2後	3			4	2	0	4	2	0		より教育内容に即した担当教員への変更(25) より教育内容に即した担当教員への変更(24) 専任教授、専任助教の負担軽減のため、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
	基礎電子工学	3前	2			1	1			4	0		専任助教の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	回路システム学	3前		2		1							教育内容充実のため、専任教授1名で対応(24)	
	離散数学	3前	2			4	0	1					より教育内容に即した担当教員への変更(24)	
	情報通信と符号化	3前	2			1								
	アルゴリズム・データ構造および演習	3後	2			1	4	0		2	0		専任准教授及び専任助教の負担軽減のため、専任教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	制御工学	3前		2				1						教育内容充実のため、専任准教授1名で対応。
	設計工学	3前		2		1								教育内容充実のため、専任教授1名で対応(24)
	電子回路学	3後		2		4	0	1						より教育内容に即した担当教員への変更(24)
	専門基礎実験A	3前	2			2	3	4	0				兼 3	教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授3名で対応(25) 専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	計算機工学	2後	2			4	1	0	4	0				専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任(25) より教育内容に即した担当教員への変更(23)
	信号処理論	3前	2					1						
	電磁波工学	3後	2					1						
組み込みシステム	3前	2			1									
情報メディアシステム	3後	2			4	2	4	0		1			教育内容充実のため、専任教授2名、専任助教1名で対応(25) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任助教1名で対応(24)	
知能システム	4前	2			1									
通信・ネットワーク	3後	2			4	1	0	4	0				専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任(25) より教育内容に即した担当教員への変更(24)	
暗号情報セキュリティ	4前	2			4	2							教育内容充実のため、専任教授2名で対応(25)	
計測工学	3後		2		4	0	1						より教育内容に即した担当教員への変更(24)	
メカトロニクス	3後		2		1	4	0					兼 1	より教育内容に即した担当教員への変更(24)	
ロボティクス	4前		2				1							
ヒューマンインタフェース	4前		2		1									
先端トピックスA	4前	2			2	2	0					兼 14	専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
	先端トピックスB	4前		2		2	2	0				兼 14 専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任助教4名で対応(25) より教育内容に即した担当者に変更(24) 教育内容充実のため、専任教授9名、専任准教授5名、専任助教2名で対応(25) 教育内容充実のため、専任教授9名、専任准教授5名、専任助教2名で対応(25)		
	専門実験A	3後	2				4	0		2	3			
	輪講A	4前	2			3	9	3	5		2			
	卒業研究A	4後		4		5	9		5		2			
② 電子・機械・制御プログラムコース 専門科目	応用数学A	2前	2			4	2					教育内容充実のため、専任教授2名で対応(23)		
	応用数学B	2後	2			1	4	0	1			教育内容充実のため、専任教授1名、専任講師1名で対応(23)		
	確率統計	2後	2			1						教育内容充実のため、専任教授1名で対応(23)		
	プログラミング通論および演習	2前	2			4	0	1				より教育内容に即した担当教員への変更(23)		
	論理回路学	2前	2			2						教育内容充実のため、専任教授2名で対応(23)		
	電磁気学および演習	2前	3			4	3			2	1	4	0	教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授1名で対応(25) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) より教育内容に即した担当教員への変更(23)
	電気回路学および演習	2後	3			4	2	0		2	4	2	0	より教育内容に即した担当者に変更(25) より教育内容に即した担当者に変更(24) 専任教授、専任助教の負担軽減のため、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	基礎電子工学	3前	2			1	1					4	0	専任助教の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	回路システム学	3前	2			1								教育内容充実のため、専任教授1名で対応(24)
	離散数学	3前	2			4	0	1						より教育内容に即した担当者に変更(24)
	情報通信と符号化	3前	2			1								
	アルゴリズム・データ構造および演習	3後	2			1	4	0				2	0	専任准教授及び専任助教の負担軽減のため、専任教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	制御工学	3前	2					1						教育内容充実のため、専任准教授1名で対応。
	設計工学	3前	2			1								教育内容充実のため、専任教授1名で対応(24)
	電子回路学	3後	2			4	0	1						より教育内容に即した担当教員に変更(24)
	専門基礎実験B	3前	2			2		3				4	0	兼 3 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授3名で対応(25) 専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
専門科目	計算機工学	2後	2			4	1	0					専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任(25) より教育内容に即した担当教員への変更(23)	
	信号処理論	3前	2					1						
	電磁波工学	3後	2					1						
	組み込みシステム	3前	2			1								
	情報メディアシステム	3後	2			4	2	4	0			1	教育内容充実のため、専任教授2名、専任助教1名で対応(25) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任助教1名で対応(24)	
	知能システム	4前	2			1								
	通信・ネットワーク	3後	2			4	1	0					専任准教授が平成25年度に専任教授に昇任(25) より教育内容に即した担当者に変更(24)	
	暗号情報セキュリティ	4前	2			4	2						教育内容充実のため、専任教授2名で対応(25)	
	計測工学	3後	2			4	0	1					より教育内容に即した担当者に変更(24)	
	メカトロニクス	3後	2			1	4	0					兼 1 より教育内容に即した担当者に変更(24)	
	ロボティクス	4前	2					1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	ヒューマンインタフェース	4前	2			1						
	先端トピックスA	4前		2		2	2	0				兼 14 専任教員の負担軽減のため、専任教員2名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)
	先端トピックスB	4前	2			2	2	0				兼 14 専任教員の負担軽減のため、専任教員2名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25)
	専門実験B	3後	2				2	4	3	2	1	専任教員1名が平成24年度に定年退職のため、専任教員2名、専任助教1名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(25) 教育内容充実のため、専任教員3名、専任助教1名に対応(24)
	輪講B	4前	2			3	7	3	10			教育内容充実のため、専任教員7名、専任教員10名に対応(25)
	卒業研究B	4後		4		3	6	3	8			教育内容充実のため、専任教員6名、専任教員8名に対応(25)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
72	48	0	120	72	48	0	120	
				[ 0]	[ 0]	[ 0]	[ 0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)	
	校舎敷地	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
	運動場用地	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
	小 計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
	そ の 他	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
	合 計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			(例) 平成25年4月 専任教員1名を新規採用のため(25)	
	〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 -15 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種				電子ジャーナル [うち外国書] 点
	〇〇学部	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
		( [ ] )	( [ ] )	( [ ] )	( )	( )	( )
計	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
		( [ ] )	( [ ] )	( [ ] )	( )	( )	( )
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	m <sup>2</sup>						
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	m <sup>2</sup>						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
	学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	電気通信大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 定 員	収 容 定 員	学位又 は 称 号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
電気通信学部 (昼間コース)								東京都調布市 調布ヶ丘1丁目 5番地1号	平成22年度から 学生募集停止
情報通信工学科	4	-	-	-			平成11年度		
情報工学科	4	-	-	-			平成11年度		
電子工学科	4	-	-	-			平成11年度		
量子・物質工学科	4	-	-	-			平成11年度		
知能機械工学科	4	-	-	-			平成11年度		
システム工学科	4	-	-	-			平成11年度		
人間コミュニケーション学科 (夜間主コース)	4	-	-	-	工学		平成11年度		
情報通信工学科	4	-	-	-			平成11年度		
情報工学科	4	-	-	-			平成11年度		
電子工学科	4	-	-	-			平成11年度		
量子・物質工学科	4	-	-	-			平成11年度		
知能機械工学科	4	-	-	-			平成11年度		
システム工学科	4	-	-	-			平成11年度		
人間コミュニケーション学科	4	-	-	-			平成11年度		

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部、学科)及び大学院(専攻)について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。

(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「一」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<情報理工学部 総合情報学科>

### (1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**, 当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し, 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」, 変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。
  - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。**



(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
12	14	2	8	36	17	11	2	10	40	65	0
( 12 )	( 14 )	( 2 )	( 7 )	( 35 )	[ 5 ]	[△3]	[ 0 ]	[ 2 ]	[ 4 ]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

## 5 教員組織の状況

〈情報理工学部 情報・通信工学科〉

### (1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。
  - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
16	18	3	13	50	18	16	1	12	47	65	0
( 16 )	( 18 )	( 3 )	( 12 )	( 49 )	[ 2 ]	[△2]	[△2]	[△1]	[△3]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

## 5 教員組織の状況

<情報理工学部 知能機械工学科>

### (1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。
  - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
14	12	0	12	38	16	10	0	11	37	65	0
( 13 )	( 12 )	( 0 )	( 11 )	( 36 )	[ 2 ]	[ Δ2 ]	[ 0 ]	[ Δ1 ]	[ Δ1 ]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

## 5 教員組織の状況

<情報理工学部 先進理工学科>

### (1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。
  - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
20	16	2	15	53	21	15	1	10	47	65	0
( 20 )	( 15 )	( 2 )	( 15 )	( 52 )	[ 1 ]	[△1]	[△1]	[△5]	[△6]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

## 5 教員組織の状況

<情報理工学部 先端工学基礎課程（夜間主）>

### (1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。
  - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。**



(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
11	12	0	6	29	12	11	0	5	28	65	0
( 11 )	( 12 )	( 0 )	( 6 )	( 29 )	[ 1 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ Δ1 ]	[ Δ1 ]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

## 7 その他全般的事項

<情報理工学部 総合情報学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位  ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため, 必修科目 (1 科目・2 単位) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照)  ② 学生の修学環境を改善するため, 講義室, 自習室をそれぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに, 図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)  
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況  b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)  c 委員会の審議事項等  ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等  b 実施方法  c 開催状況 (教員の参加状況含む)  d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期  b 教員や学生への公開状況, 方法等
--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)  
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例)

- ・平成25年5月1日 公表

b 公表方法

記入例)

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成25年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

- ・平成25年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成25年 6月28日 )

## 7 その他全般的事項

<情報理工学部 情報・通信工学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位  ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため, 必修科目 (1 科目・2 単位) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照)  ② 学生の修学環境を改善するため, 講義室, 自習室をそれぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに, 図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)  
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況  b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)  c 委員会の審議事項等  ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等  b 実施方法  c 開催状況 (教員の参加状況含む)  d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期  b 教員や学生への公開状況, 方法等
--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)  
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>.....</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>記入例） ・平成25年5月1日 公表</p> <p>b 公表方法</p> <p>記入例） ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布 ・大学ホームページ上に公開予定（平成25年8月末を予定）</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>記入例） ・平成25年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中</p>
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 ( 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 )</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成 25 年 6 月 28 日 )</p>
---

## 7 その他全般的事項

<情報理工学部 機械知能工学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位  ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため, 必修科目 (1 科目・2 単位) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照)  ② 学生の修学環境を改善するため, 講義室, 自習室をそれぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに, 図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)  
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況  b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)  c 委員会の審議事項等  ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等  b 実施方法  c 開催状況 (教員の参加状況含む)  d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期  b 教員や学生への公開状況, 方法等
--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)  
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例)

・平成25年5月1日 公表

b 公表方法

記入例)

・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布  
・大学ホームページ上に公開予定（平成25年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

・平成25年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成25年 6月28日 )



## 7 その他全般的事項

<情報理工学部 先進理工学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位  ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため, 必修科目 (1 科目・2 単位) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照)  ② 学生の修学環境を改善するため, 講義室, 自習室をそれぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに, 図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)  
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況  b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)  c 委員会の審議事項等  ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等  b 実施方法  c 開催状況 (教員の参加状況含む)  d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期  b 教員や学生への公開状況, 方法等
--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)  
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例)

- ・平成25年5月1日 公表

b 公表方法

記入例)

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成25年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

- ・平成25年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成25年 6月28日 )

## 7 その他全般的事項

<情報理工学部 先端工学基礎課程（夜間主）>

### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位  ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため, 必修科目 (1 科目・2 単位) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照)  ② 学生の修学環境を改善するため, 講義室, 自習室をそれぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに, 図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)  
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況  b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)  c 委員会の審議事項等  ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等  b 実施方法  c 開催状況 (教員の参加状況含む)  d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期  b 教員や学生への公開状況, 方法等
--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)  
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例)

- ・平成25年5月1日 公表

b 公表方法

記入例)

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成25年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

- ・平成25年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成25年 6月28日 )